２０２５年度

# 京都産業大学大学院

# 学生募集要項

博士前期課程・修士課程

博士後期課程

経 済 学 研 究 科

マネジメント研究科

法 学 研 究 科

現代社会学研究科

外 国 語 学 研 究 科

理 学 研 究 科

先端情報学研究科

生 命 科 学 研 究 科

京 都 産 業 大 学

# 目　次

**京都産業大学大学院のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）** …… 1

**Ⅰ　共通事項**
1．募集研究科及び入学定員 …… 6
2．出願先 …… 6
3．試験場 …… 6
4．入学検定料 …… 6
5．出願上の注意事項 …… 7
6．受験票 …… 8
7．受験上の注意 …… 8
8．合否結果通知 …… 8
9．入学手続 …… 8
10．入学金・学費等 …… 9
11．個人情報取り扱いの基本方針 …… 10

**Ⅱ　入試制度（博士前期課程・修士課程）**
1．一般入試 …… 11
2．社会人入試
　2－1．社会人一般入試 …… 20
　2－2．社会人推薦入試 …… 28
3．外国人留学生入試 …… 30

**Ⅲ　入試制度（博士後期課程）**
1．一般入試 …… 35
2．社会人推薦入試 …… 39
3．外国人留学生入試 …… 42

**Ⅳ　教員の紹介**
1．博士前期課程・修士課程 …… 47
2．博士後期課程 …… 55

**Ⅴ　特色ある制度**
1．ジョイント・プログラム（税務エキスパート） …… 59
2．大学院生支援奨学金制度 …… 64
3．私費外国人留学生を対象とした授業料減免制度 …… 66
4．教育研究支援制度 …… 67
5．長期履修制度 …… 68

**Ⅵ　日本学生支援機構奨学金** …… 69

**＜出願書類（本学指定様式）＞**
本学 Web サイトよりダウンロードしてください。
HOME　＞ 学部・大学院 ＞ 大学院 ＞ 大学院入試

# 京都産業大学大学院のアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

## 【経済学研究科】

### ＜博士前期課程＞

建学の精神に基づく本課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）が求める要件を、２年間の教育課程での学修を通じて身に付けることができると期待される、次のような素養をもつ入学生を求めます。

１.高度専門職業人や研究者を目指すか、又は高度で知的な素養を身に付けるという明確な目標をもっていること

２.経済的課題の探究に強い関心を有していること

３.経済を客観的に分析・考察するための基礎的な能力を有していること

入学者選抜では、上記学生を念頭に置きつつ、４つの選抜方法（一般入試、外国人留学生入試、学内推薦入試、学内推薦入試（飛び級））により実施します。

### ＜博士後期課程＞

建学の精神に基づく本課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）が求める要件を、３年間の教育課程での学修を通じて身に付けることができると期待される、次のような素養をもつ入学生を求めます。

１.自立した経済研究者を目指すという明確な目標をもっていること

２.経済の専門分野の高度な研究に強い関心を有していること

３.経済を客観的に分析・考察できる専門的な能力を有していること

入学者選抜では、上記学生を念頭に置きつつ、２つの選抜方法（一般入試、外国人留学生入試）により実施します。

## 【マネジメント研究科】

### ＜博士前期課程＞

２年間の教育課程で全ての入学生が、マネジメント能力をもった高度専門職業人に成長できるように、次のような素養をもった学生を求めます。

１.より高いマネジメント能力を身に付けたいと感じている人。

２.様々な社会の現場で、自己のマネジメント能力のスキルアップを目指す人。

入学者選抜は上記の要件を評価できる多様な方法を用いて実施します。

特徴的な入学者選抜として、社会人一般入試、外国人留学生入試を実施します。

### ＜博士後期課程＞

３年間の教育課程で全ての入学生が、マネジメント能力をもった高度専門職業人に成長できるように、次のような素養をもった学生を求めます。

前期課程（修士課程）の修了後、さらに高度な専門的知識と洞察力を深めることによりマネジメント能力をより一層発展させ、将来において、社会の様々な領域で指導的役割を担う人。

入学者選抜は上記の要件を評価できる多様な方法を用いて実施します。特徴的な入学者選抜として、社会人推薦入試、外国人留学生入試を実施します。

**【法学研究科】**

**＜法律学専攻　博士前期課程＞**

高度の専門知識と実務上の素養の修得を通じ、法律学の諸分野にわたる研究者と、税理士、弁理士又は司法書士など法化社会の要請に応じうる専門職業人を始めとして、有為の人材を養成するという法学研究科の目的に沿い、法学研究科および専攻の目的を理解した上で、以下の志望を有する者を広く受け入れる。

1.法律学の基礎知識を有しその発展の上に高度な学問を自らのものとすることを目指す者
2.高度な知識と識見を様々な専門職分野に進むことを通じて生かし、社会に貢献しようとする者
3.社会人としての経験を研究に投影し、理論的深化と問題解決を目指そうとする者

**＜法政策学専攻　博士前期課程＞**

高度の専門知識と実務上の素養の修得を通じ、法律学・政治学・政策学の諸分野にわたる研究者と、各種の公務員又はNPO職員など公益の実現に携わる職業人を始めとして、有為の人材を養成するという法学研究科の目的に沿い、法学研究科および専攻の目的を理解した上で、以下の志望を有する者を広く受け入れる。

1.法律学・政治学・政策学の基礎知識を有しその発展の上に高度な学問を自らのものとすることを目指す者
2.高度な知識と識見を公益に関わる分野に進むことを通じて生かし、社会に貢献しようとする者
3.社会人としての経験を研究に投影し、理論的深化と問題解決を目指そうとする者

**＜法律学専攻　博士後期課程＞**

法学研究科および各専攻の目的を理解した上で、各々の志望に沿い、法律学の諸分野において、高度な知識と識見に基づき、自立して研究を行う能力を獲得しようとする意欲を有し、研究分野を通じた社会への貢献を目指す者を受け入れる。

**＜法政策学専攻　博士後期課程＞**

法学研究科および各専攻の目的を理解した上で、各々の志望に沿い、法律学・政治学・政策学の諸分野において、高度な知識と識見に基づき、自立して研究を行う能力を獲得する意欲を有し、研究分野を通じた社会への貢献を目指す者を受け入れる。

**【現代社会学研究科】**

本研究科は、Society 5.0、データ駆動型社会及び国連が提唱するSDGsの実現を推進するこれからの社会に必要となる「多様な他者と協働しながらエビデンスに基づく社会課題の解決策を考案するために、複雑な社会のあり方に関心を持ち、社会学理論と社会調査法の高度な知識を活用できる人材」を養成することを教育目的とします。

本研究科では、社会人に対する高度なリカレント教育という大学院が果たすべき社会的機能にも応じるものとして、基礎となる学部等からの進学者の他、社会人等を受け入れます。

また、本研究科で学修・研究を希望する者には、本研究科の教育課程を修了の後、高度な知識やスキルが求められる高度専門職業人あるいは知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材として、獲得した社会学の専門知識、高度な調査・研究の能力をもって、社会の課題解決を考案のうえ、多様な他者と協働してこの解決に向けて行動していくことを求めます。

この趣旨を十分に理解した人物を受け入れることとし、学生受け入れの方針（アドミッション・

ポリシー）として以下の項目を掲げます。

（ア）社会に生起する問題に関心があり、社会学の研究を通じて社会課題の解決に取り組む意欲を持つ者

（イ）社会学理論と社会調査法の高度な専門知識を備えた高度専門職業人あるいは知識基盤社会を支える高度で知的な素養を持つ人材を目指す意欲を持つ者

（ウ）社会課題の解決のために多様な人々と協働することの重要性を理解し、それを実践する能力の修得に意欲を持つ者

（エ）大学院において修士論文あるいは特定の課題についての研究の成果（政策提言報告書）を完成させるために必要な意欲と基礎学力を備えている者

**【外国語学研究科】**

２年間の教育課程ですべての入学者が、ディプロマ・ポリシーに定めたレベルに到達できるように、次の素養をもった学生を求めます。

**（英米語学専攻）**

1. 英語教育学もしくはその基盤となる学問分野の理論を深く学び、研究したいという、強い探求心を有する人。
2. 英語教育学もしくはその基盤となる学問分野の理論に関して基礎的知識を有する人。
3. データを適切に整理・分析し、分析結果を総合して論理的に結論を導くことができる、基本的能力を有する人。
4. 日本語および英語で書かれた専門的文献を読み、その内容が正確に理解できる読解力を有する人。
5. 英語での講義・説明を理解し、議論に参加できる英語運用能力を有する人。
6. 修得した専門知識を社会貢献につなげようという強い意志を有する人。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。また特徴的な入学者選抜として、中学校・高等学校の現役英語教員を対象とした「社会人推薦入試」を実施します。

**（中国語学専攻）**

1. 入学までに中国語学および中国文化に関わる科目を履修している。
2. 特定の研究テーマについて文献や資料を収集・分析することができる。
3. コンピュータ上での言語情報処理についての基礎的知識を有する。
4. 留学生はＮ１相当の日本語運用能力を有する。
5. コミュニケーションを図るための中国語と日本語の運用能力を有する。
6. 中国語、中国文化および東アジアの言語文化に関して興味・関心および教養を有している。
7. 中国語学・中国文化・中国文学等に関する理論の基礎的知識を有する。
8. グローバル社会で主体的に貢献するために深く研究する探究心を有する。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

**（言語学専攻）**

1. 言語学もしくはその基盤となる学問分野の理論を深く学び、人間言語を客観的に分析する強い探求心
2. 言語学もしくはその基盤となる学問分野の理論に関しての基礎的知識
3. データを適切に整理・分析し、分析結果を総合して論理的に結論を導くことができる基本的能力

４.日本語または英語で書かれた専門的文献を読み、その内容が正確に理解できる読解力
５.言語の考察を通してその背景に存在する言語文化への多面的な理解力
入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

**【理学研究科】**

**＜博士前期課程＞**

**（数学専攻）**

数学や数理科学に強い関心があり、その基礎学力を持つと共に、一つの分野の専門家としての深い知識や能力を身に付けたい人や、物事をじっくり考え興味深い現象の発見や問題解決に意欲をもつ人を求めます。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

**（物理学専攻）**

ものづくりの基本となる物理学などの理数系科目に特に興味があり、それらの基礎学力を有しているとともに国際化に対応できるコミュニケーション能力の習得にも興味がある人、物理学、物理科学及び科学技術全般に強い関心をもち、ひとつの分野の専門家として深い知識や能力をつけたい人、興味深い現象の発見に意欲を持ち、それに果敢に挑戦する人を求めます。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

**＜博士後期課程＞**

**（数学専攻）**

論理的な思考能力に優れ、博士前期課程（修士）レベルの基礎学力を持つと共に、自ら新たな問題を発掘し、それに取り組むことのできる意欲のある人を求めます。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

**（物理学専攻）**

物理学やその関連分野について博士前期課程（修士）レベルの基礎学力をもつとともに、真理への探究に強い情熱をもっている人、物理、物理科学の最先端を担うべく、自発的、創造的に研究に取り組むことのできる意欲のある人を求めます。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

**【先端情報学研究科】**

**＜博士前期課程＞**

急速に進展するグローバルな高度情報社会を支える、情報技術分野においてより先進的で、高度な専門知識と技術や応用力を備えた社会的要請にこたえる人材の養成を目的に志願者の募集を行う。具体的には、

１.情報関連の専門分野についての豊富な知識と研究能力を有する者。
２.高度な技術および研究能力を身に付け、各種先端的産業分野における技術者・研究者として積極的に社会に貢献しようとする意思をもった者。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施する。

**＜博士後期課程＞**

情報関連分野において将来にわたって活用できる幅広い基礎的素養を身に付けており、博士後期課程での研究分野に関して豊富な専門的知識と研究能力を有し、さらにより高度な技術や研究

能力を身に付けることによって情報関連の先端的分野における研究者や大学教員として積極的に社会に貢献しようとする意思をもった者を受け入れる。具体的には、

1.先端情報学分野の幅広い知識と、専門分野に対する先進的な知識と研究能力を有する者。

2.情報関連の先端的分野における専門的研究者や大学教員として積極的に社会に貢献しようとする高い意欲をもった者。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施する。

**【生命科学研究科】**

**＜博士前期課程＞**

生命科学研究科では、本課程のカリキュラムを履修した結果、全ての入学生がディプロマ・ポリシーに掲げる人材に成長することを目指しているため、次のような素養をもった入学生を求めます。

1.生命科学の基礎的な知識と実験能力を身に付けている。

2.生命科学の修得に必要な基礎的英語能力を身に付けている。

3.高度な専門的知識や技術を修得して、専門職業人または研究者として社会に貢献する意志をもつ。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

**＜博士後期課程＞**

生命科学研究科では、本課程のカリキュラムを履修した結果、全ての入学生がディプロマ・ポリシーに掲げる人材に成長することを目指しているため、次のような素養をもった入学生を求めます。

1.生命科学の専門分野についての知識と研究能力を身に付けている。

2.生命科学の研究を遂行するために必要な英語能力を身に付けている。

3.専門分野を開拓する高度な研究能力を身に付け、研究者として社会および生命科学に貢献する意志をもつ。

入学者選抜は上記の要件を評価できるよう、多様な方法を用いて実施します。

# Ⅰ．共通事項

## １．募集研究科及び入学定員

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 | |
|---|---|---|---|
| | | 博士前期課程<br>・修士課程 | 博士後期課程 |
| 経済学研究科 | 経済学専攻 | 5名 | 3名 |
| マネジメント研究科 | マネジメント専攻 | 15名 | 3名 |
| 法学研究科 | 法律学専攻 | 10名 | 5名 |
| | 法政策学専攻 | 10名 | 2名 |
| 現代社会学研究科 | 現代社会学専攻 | 6名 | ― |
| 外国語学研究科 | 英米語学専攻 | 5名 | ― |
| | 中国語学専攻 | 3名 | ― |
| | 言語学専攻 | 3名 | ― |
| 理学研究科 | 数学専攻 | 5名 | 3名 |
| | 物理学専攻 | 10名 | 3名 |
| 先端情報学研究科 | 先端情報学専攻 | 20名 | 3名 |
| 生命科学研究科 | 生命科学専攻 | 20名 | 3名 |

※　上記の各研究科・専攻の人数は、一般･社会人･外国人留学生等の入試制度を合わせた全体の募集人数です。

※　秋季募集と春季募集の年２回実施しますが、春季募集の募集人員は各研究科・専攻とも若干名とします。なお、博士後期課程の秋季募集は、先端情報学研究科のみ募集します。

## ２．出願先

京都産業大学　教学センター（大学院担当）（10 号館１階）

〒603 - 8555 京都市北区上賀茂本山　　℡（075）705 - 1913

出願書類を本学所定の出願用封筒に入れて提出してください。

郵送の場合は、必ず簡易書留速達便で送付してください（当日消印有効）。

窓口提出による出願受付は、次のとおりです。

窓口受付時間：平日・・・午前９時～午後４時まで（午後１時～午後２時を除く。）

ただし、土曜、日曜及び祝日は窓口受付を行いません。

## ３．試験場

京都産業大学（京都市北区上賀茂本山）

## ４．入学検定料

35,000 円

【日本国内からの場合】

振込期間は、各入試制度とも出願期間と同一期間です。

**（期限当日の収納印有効、期間外取扱不可）**

(1)　振込依頼書は、志願票と一枚綴りになっていますので必要事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口に持参してください。その際、**振込依頼書（Ｅ）の赤枠部分を打電**するように窓口で依頼してください。

(2)　振込依頼書に記載している銀行の本・支店から振込む場合は、手数料が不要です。その他の金融機関から振込む場合は、手数料が必要となります。

(3) **ＡＴＭ（現金自動預け払い機）は、使用しないでください。**
(4) 振込み後、振込依頼書以外を受け取り、志願票・領収書に金融機関の収納印があることを必ず確認してください。(収納印のないものは無効となります。)
(5) 入学検定料の領収書は、本人が保管してください。
(6) 一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

【海外から送金の場合】

海外から送金する場合は、日本の銀行の手数料（銀行で確認してください。）を加算して、日本円で下記の口座に送金してください。不足があれば受理できません。送金小切手は取り扱いません。

振込期間は、次のとおりです。**（期限当日の収納印有効・期間外取扱不可）**

**秋季募集　外国人留学生入試　2024 年 7 月 25 日（木）　～ 8 月 5 日（月）**
**春季募集　外国人留学生入試　2024 年 10 月 31 日（木）～11 月 8 日（金）**

振込先銀行・支店：SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION.KYOTO BRANCH
SWIFT code/BIC code：SMBCJPJT (8 桁)/ SMBCJPJTXXX (11 桁)
振込先銀行住所：8,Naginatabokocho,Shimogyo-ku,Kyoto 600-8008,JAPAN
口座番号：ACCOUNT NO.9827085
口座名義：KYOTO SANGYO UNIVERSITY
大学住所・電話番号：Motoyama,Kamigamo,Kita-ku,Kyoto 603-8555,JAPAN
(TEL. +81-75-705-1415)

## ５．出願上の注意事項

(1) 志願票の記入にあたっては、「志願票」の記入上の注意を参照しながら、黒ボールペンを用い、正確・明瞭に記入してください。(※印欄には記入しないでください。)
(2) 出願書類に記入する氏名及び生年月日等は、住民票と一致させてください。
(3) 出願後の書類の変更は認めません。
(4) 出願書類及び入学手続書類に虚偽の記載があった場合には、入学を取り消します。
(5) 外国人留学生で合格後、在留資格を維持できず、入学辞退になる事案が起こっています。
**入学後の在留資格の変更・更新に不安がある場合は、あらかじめ出入国在留管理庁に確認してから出願してください。**
(6) 出願及び入学にあたり、本学は在留資格の取得・変更・更新の代理申請は行いません。
(7) 在留資格について
私費外国人留学生とは、日本の大学等において教育を受ける目的を持って入国し、大学等に入学した留学生のことです。すなわち「出入国管理及び難民認定法」の「留学」に定める在留資格によって入国した者及び他の在留資格によって入国し、その後所定の手続を経て、上記に定める資格に変更することのできる者のことをいいます。
なお、在留資格が「日本人の配偶者等」、「定住者」及び父母が日本国内に居住し、入学後「家族滞在」の在留資格から「留学」に変更した者は、私費外国人留学生としての本学の経済支援優遇措置を受けることはできません。

## ６．受験票

受験票は、願書受付処理後、郵送で発送します。

もし、試験日の３日前になっても届かない場合は、研究科名、出願書類の投函日、投函局名、書留引受番号を明らかにして、本学教学センター（大学院担当）に問い合わせてください。

## ７．受験上の注意

(1)　試験開始20分前までに掲示を確認して、各自指定された試験会場（集合場所）に入室してください。

(2)　**試験開始後30分以上遅刻した者は受験を認めません。**また、終了時間まで退室できません。

## ８．合否結果通知（発送日）

本人宛に合否通知日に郵送で通知します。電話による問い合わせには応じません。

## ９．入学手続

合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付しますので指示に従い、次の入学手続を完了してください。

学費等の納入方法などに関しては、秋季募集一般入試の場合 2025 年２月下旬に、また、秋季募集社会人入試及び外国人留学生入試の場合、2024 年 12 月下旬に１次手続完了者へ送付する資料を参照してください。また、春季募集の場合、合格通知に同封する資料を参照してください。

なお、所定の期日までに１次手続及び２次手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして入学を許可しません。

(1) １次手続（入学金の納入）

(2) ２次手続（学費等の納入及び入学手続書類の提出）

※　海外から本学の口座に直接送金する場合は、必ず日本の銀行の手数料を加算して、日本円で期日までに入金するよう注意してください。

※　入学金・学費等納入後、やむを得ない事情により入学を辞退する場合は、2025 年 3 月 31 日までに所定の手続を行ってください。期限内に入学辞退の手続及び学費等返還の請求が行われた場合に限り、入学金を除く学費等を返還します。

※　出願時において、2025 年 3 月までに卒業・修了もしくは学位を授与される見込みであった者は、出願時に提出された見込証明書の発行を受けた大学・学校等を 2025 年 3 月までに卒業・修了もしくは学位を授与されていることが入学の条件となります。もし、卒業・修了もしくは学位が授与されなかった場合、入学を許可しません。

## 10. 入学金・学費等

下表は、2025 年度入学者の学費一覧です。

【博士前期課程・修士課程】 （単位：円）

| 研究科 | 年次 | 学期 | 入学金 | 授業料 | 実験実習費 | 教育充実費 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経済学研究科<br>マネジメント研究科<br>法学研究科<br>現代社会学研究科<br>外国語学研究科 | 1年次 | 春学期<br>（入学手続時） | 200,000 | 264,000 | — | 81,500 | 545,500 |
| | | 秋学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | 2年次 | 春学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | | 秋学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | 計 | | 200,000 | 1,056,000 | — | 326,000 | 1,582,000 |
| 理学研究科<br>先端情報学研究科<br>生命科学研究科 | 1年次 | 春学期<br>（入学手続時） | 200,000 | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 684,000 |
| | | 秋学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | 2年次 | 春学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | | 秋学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | 計 | | 200,000 | 1,388,000 | 204,000 | 344,000 | 2,136,000 |

【博士後期課程】 （単位：円）

| 研究科 | 年次 | 学期 | 入学金 | 授業料 | 実験実習費 | 教育充実費 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 経済学研究科<br>マネジメント研究科<br>法学研究科 | 1年次 | 春学期<br>（入学手続時） | 200,000 | 264,000 | — | 81,500 | 545,500 |
| | | 秋学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | 2年次 | 春学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | | 秋学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | 3年次 | 春学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | | 秋学期 | — | 264,000 | — | 81,500 | 345,500 |
| | 計 | | 200,000 | 1,584,000 | — | 489,000 | 2,273,000 |
| 理学研究科<br>先端情報学研究科<br>生命科学研究科 | 1年次 | 春学期<br>（入学手続時） | 200,000 | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 684,000 |
| | | 秋学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | 2年次 | 春学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | | 秋学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | 3年次 | 春学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | | 秋学期 | — | 347,000 | 51,000 | 86,000 | 484,000 |
| | 計 | | 200,000 | 2,082,000 | 306,000 | 516,000 | 3,104,000 |

(1) 入学金は、入学年度のみ徴収します。ただし、本学卒業生（卒業見込者を含む）または本学に3年以上在学し引き続いて本大学院に入学を許可された者の入学金は 100,000 円とします。また、本大学院の前期課程または修士課程を修了した者が引き続いて後期課程へ進学する場合は、入学金は不要とします。

(2) 特殊な実験・実習については、上記のほか、別に定めるところにより、更に必要実費を徴収することがあります。

(3) 学費等は、春学期分（4月）・秋学期分（10 月）の2期に分割して徴収します。

(4) 上記以外に、学生健康保険互助会費として入学年度は 3,500 円（年額）を、次年度以降は 2,500

円（年額）を代理徴収します。

## 11. 個人情報取り扱いの基本方針

以下の「京都産業大学の個人情報の取り扱い」を必ずお読みいただき、内容を確認・同意のうえ、出願してください。出願後は、以下の内容に同意いただいたものとします。

≪京都産業大学の個人情報の取り扱い≫

本学では、住所、氏名、電話番号などの個人情報は、本法人のプライバシーポリシーに基づいて厳重に管理します。

これらの個人情報は、入学者の選抜及び受験票、合否結果通知、合格者・入学手続者への各種案内、本学が行う受験に関するアンケートの発送に利用します。また、統計資料の作成のため、個人を特定しない形で利用することがあります。

**〈個人情報に関するお問い合わせ先〉**

京都産業大学　総務部（総務担当）　TEL. 075-705-1408

# Ⅱ.入試制度（博士前期課程・修士課程）

## １．一般入試

### (1) 入試日程

| 実施時期 | 出願期間（期限当日の消印有効） | 試験日 | 合否通知（発送日） | 入学手続期間 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | １次手続 | ２次手続 |
| 秋季(9月) | 7月25日(木)～8月7日(水) | 9月14日(土)<br>※1、※2 | 9月26日(木) | 9月27日(金)<br>～10月7日(月) | 2月28日(金)<br>～3月12日(水) |
| 春季(2月) | 1月7日(火)～1月16日(木) | 2月15日(土)<br>※2 | 2月27日(木) | 2月28日(金)～3月12日(水) | |

※１　理学研究科の一般入試は、9月13日・14日の2日間実施します。

※２　ジョイント・プログラム(税務エキスパート）を含みます。

### (2) 募集研究科

経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科を対象とします。

### (3) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

① 大学を卒業した者又は 2025 年 3 月までに卒業見込みの者

② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

⑧ 文部科学大臣の指定した者

⑨ 2025 年 3 月で、大学の在学期間が 3 年以上となる者又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了する者で、かつ、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者

⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

※　現代社会学研究科、理学研究科、先端情報学研究科および生命科学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。

※　⑦、⑨又は⑩により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、次の期日までに必ず本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※　資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

**【事前資格審査期限】　秋季募集（９月）　2024年 7月18日(木)【必着】**
**春季募集（２月）　2024年12月17日(火)【必着】**
**【申　請　書　類】　出願書類一式**

**(4)　出願書類**

①　志願票（本学所定用紙）
②　在籍大学又は最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）
③　最終出身学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書
ア．中国の大学又は大学院を卒業（修了）した者にあっては、出身大学の卒業証明書又は修了証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学歴証書電子注冊備案表」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。
＜中国教育部のホームページ：　https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp＞
イ．中国の大学又は大学院に在学中の者にあっては、在学中の卒業見込証明書又は修了見込証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学籍在線験証報告」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。
ウ．卒業（修了）見込証明書を提出した者は、入学時までに卒業（修了）証明書の提出を求めます。
④　大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者は、学位記の写し又は学位授与証明書。学位授与申請中の者は、学位授与申請受理証明書
（学位授与申請受理証明書を提出した者は、入学時までに学位授与証明書を提出してください。）
⑤　志望調査票（本学所定用紙）
（経済学研究科、マネジメント研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科のみ提出）
⑥　志望理由書（本学所定用紙）
（法学研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、先端情報学研究科のみ提出）
⑦　研究計画書（本学所定用紙）
（経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、先端情報学研究科のみ提出）
⑧　指定課題（本学所定用紙）
（理学研究科の春季募集（２月）のみ提出）
⑨　自己申告資料
＜マネジメント研究科ジョイント・プログラム（税務エキスパート）のみ提出＞
61 ページに該当する書類を提出してください。
＜法学研究科法律学専攻ジョイント・プログラム（税務エキスパート）のみ提出＞
61 ページ①～④に該当する資格等の証明書又は客観的に判断できるものを提出してください。

⑩　履歴書（本学指定様式）
（現代社会学研究科のみ提出）

⑪　英語筆記試験免除申請書(本学所定用紙)及び外部英語試験の成績証明書(原本及びコピー)
現代社会学研究科出願者のうち、外部英語試験のスコア提出により現代社会学研究科の英語試験に代えることを希望する場合のみ提出してください。

**現代社会学研究科では、CEFR（セファール：ヨーロッパ言語共通参照枠）を参考に、以下に該当する外部英語試験のスコアを有する場合、そのスコア等の提出により、本学において実施する英語試験に代えることができます。**

**2021 年４月１日以降に取得したスコアのみ、有効とします。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ケンブリッジ英語検定 | 140 点以上 | ＴＥＡＰ　ＣＢＴ | 435 点以上 |
| 実用英語技能検定 | 1950 点以上 | ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴ | 42 点以上 |
| ＧＴＥＣ | 960 点以上 | ＴＯＥＦＬ　ＩＴＰ | 460 点以上 |
| ＩＥＬＴＳ | 4.0 点以上 | ＴＯＥＩＣ　Ｌ＆Ｒ（ＩＰ含む） | 550 点以上 |
| ＴＥＡＰ | 225 点以上 | | |

スコアの提出をもって英語試験に代えることを希望する場合は、英語筆記試験免除申請書及び外部英語試験の成績証明書の原本とコピーを提出してください(原本とコピーを照合の後、原本は入学試験当日に返却します。)。出願時に原本が提出できない場合は、その旨、本学教学センター（大学院担当）にお問い合わせください。

なお、外部英語試験のスコア等を提出した場合でも、本学での英語試験を受験することは可能です。その場合、外部英語試験のスコア又は本学英語試験の得点のいずれか高得点となる成績を採用し、合否の判定を行います。

⑫　外部テストの成績が証明できるもの
（先端情報学研究科のみ提出）
出願期間を含む過去 2 年以内に実施された TOEIC 又は TOEFLiBT の成績が証明できるもの
TOEIC であれば「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表」の原本とコピーを提出してください。原本とコピーを照合の後、原本は返却します。なお、使用できる TOEIC は、「Listening & Reading」の公開テスト又は IP テストが対象となります（出願時に TOEIC の「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表」を提出できない場合は、口述試験時に提出してください。また出願書類に同封し提出済みの場合であっても、別の受験回のスコアを試験当日に持参して提出することも可とします）。
TOEFLiBT であれば「スコアレポート」を提出してください。
（生命科学研究科のみ提出）
TOEIC の公式認定証又は IP テストの個人成績表（原本及びコピー）
出願期間を含む過去 2 年以内に実施されたテストの「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表の原本とコピーを提出してください。原本とコピーを照合の後、原本は返却します。なお、使用できる TOEIC は、「Listening & Reading」の公開テスト又は IP テストが対象となります。（出願時に TOEIC の「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表」を提出できない場合は、口述試験時に提出してください。また出願書類に同封し提出済みの場合であっても、別の受験回のスコアを試験当日に持参して提出することも可とします。）

⑬　書類送付先住所届（本学所定用紙）

⑭　在留カードの写し及びパスポートの写し（外国人の方のみ提出）

在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。

日本に在留していない外国人の方は、パスポートの写し（氏名・顔写真の部分）のみを提出してください。

**(5) 試験科目**

**秋季募集　試験日：９月１４日（土）**

**＜理学研究科は、９月１３日（金）・１４日（土）の２日間実施します。＞**

| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|---|
| 経済学研究科<br>経済学専攻 | | 10:00～11:20（80分）<br>英語（100点） | 13:00～14:50（110分）<br>経済学（200点）<br>ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的知識を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | | 10:00～11:00（60分）<br>英語（100点） | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）経営学と会計学のどちらか１題を選択。いずれの問題とも各分野の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学<br>研究科 | 法律学<br>専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>外国語（100点）<br>英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | 13:00～14:50（110分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | ―<br>面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学<br>専攻 | 外国語（100点）<br>英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

＜ジョイント・プログラム（税務エキスパート）＞

| 研究科・専攻 | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | 10:00～11:00（60分）<br>英語（100点） | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>会計学の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学研究科<br>法律学専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>外国語（100点）<br>英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | 13:00～14:50（110分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

| 研究科・専攻 | 専門科目 | 外国語科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| 現代社会学研究科<br>現代社会学専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>小論文（100点）<br>与えられたテーマに基づき、小論文としてまとめる。 | 13:00～14:00（60分）<br>英語（100点） | 面接<br>（面接時間は受験票参照 |

<table>
<tr><th colspan="2">研究科・専攻</th><th>専門科目</th><th>外国語科目</th><th>口述試験</th></tr>
<tr><td rowspan="3">外国語学<br>研究科</td><td rowspan="2">英米語学<br>専攻</td><td>10:00～11:50（110分）</td><td>13:00～14:30（90分）</td><td rowspan="2">面接<br>（面接時間は<br>受験票参照）</td></tr>
<tr><td>専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。</td><td>英語（100点）</td></tr>
<tr><td>中国語学<br>専攻</td><td>専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。</td><td>中国語（100点）</td><td rowspan="2">面接<br>（面接時間は<br>受験票参照）</td></tr>
<tr><td>言語学<br>専攻</td><td>専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。</td><td>英語（100点）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">先端情報学研究科<br>先端情報学専攻</td><td>専門科目</td><td>外国語科目</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td>10:00～11:30（90分）</td><td>―</td><td colspan="2">13:00～</td></tr>
<tr><td>情報やコンピュータに関する基礎科目（数学を含む）<br>（150点）</td><td>―<br>（備考４参照）</td><td>プレゼンテーション<br>（150点）<br>（備考７参照）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">生命科学研究科<br>生命科学専攻</td><td>外国語科目</td><td>専門科目</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td>―</td><td>10:00～11:50（110分）</td><td colspan="2">13:00～</td></tr>
<tr><td>英語（100点）<br>（備考５参照）</td><td>生命科学（200点）<br>（備考６参照）</td><td colspan="2">面接</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">研究科・専攻</th><th colspan="2">１日目</th><th colspan="2">２日目</th></tr>
<tr><td rowspan="4">理学<br>研究科</td><td rowspan="2">数学専攻</td><td>外国語科目</td><td>専門科目Ⅰ</td><td>専門科目Ⅱ</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td>10:00～11:00(60分)</td><td>13:00～15:30(150分)</td><td>10:00～12:30(150分)</td><td>14:30～</td></tr>
<tr><td>英語（150点）</td><td>数学Ⅰ（300点）</td><td>数学Ⅱ（300点）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物理学専攻</td><td>10:00～11:00(60分)</td><td>13:00～15:00(120分)</td><td>10:00～11:20(80分)</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td>英語（150点）</td><td>物理学Ⅰ（360点）</td><td>物理学Ⅱ（240点）</td><td>面接</td></tr>
</table>

**春季募集　試験日：２月１５日(土)**

| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|---|
| 経済学研究科<br>経済学専攻 | | 10:00～11:20（80分）<br>英語（100点） | 13:00～14：50（110分）<br>経済学（200点）<br>ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的知識を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | | 10:00～11:00（60分）<br>英語（100点） | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>経営学と会計学のどちらか１題を選択。いずれの問題とも各分野の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学研究科 | 法律学専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>外国語（100点）<br>英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | 13:00～14:50（110分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学専攻 | 外国語（100点）<br>英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

＜ジョイント・プログラム（税務エキスパート）＞

| 研究科・専攻 | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | 10:00～11:00（60分）<br>英語（100点） | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>会計学の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学研究科<br>法律学専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>外国語（100点）<br>英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | 13:00～14:50（110分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 外国語科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|---|
| 現代社会学研究科<br>現代社会学専攻 | | 10:00～11:30（90分）<br>小論文（100点）<br>与えられたテーマに基づき、小論文としてまとめる。 | 13:00～14:00（60分）<br>英語（100点） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 外国語学研究科 | 英米語学専攻 | 10:00～11:50（110分）<br>専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 13:00～14:30（90分）<br>英語（100点） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 中国語学専攻 | 専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 中国語（100点） | |
| | 言語学専攻 | 専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 英語（100点） | |

<table>
<tr><td colspan="2">研究科・専攻</td><td>専門科目</td><td>外国語科目</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td rowspan="3">理学<br>研究科</td><td rowspan="2">数学専攻</td><td>10:00～12:00（120分）</td><td>13:00～14:00（60分）</td><td>15:00～</td></tr>
<tr><td>数学（200点）<br>（微分積分・線形代数・集合論）</td><td>英語（100点）</td><td>面接<br>（備考８参照）</td></tr>
<tr><td>物理学専攻</td><td>物理学（200点）</td><td>英語（100点）</td><td>面接<br>（備考９参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">先端情報学研究科<br>先端情報学専攻</td><td>外国語科目</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td>―</td><td colspan="2">13:00～</td></tr>
<tr><td>―<br>（備考４参照）</td><td>プレゼンテーション（100点）<br>（備考10参照）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">生命科学研究科<br>生命科学専攻</td><td>外国語科目</td><td>専門科目</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td>―</td><td>10:00～11:50（110分）</td><td>13:00～</td></tr>
<tr><td>英語（100点）（備考５参照）</td><td>生命科学（200点）<br>（備考６参照）</td><td>面接</td></tr>
</table>

**備 考**

【秋季・春季募集共通】

１．法学研究科の出願者は、外国語科目、専門科目の受験科目を志願票に記入してください。

２．マネジメント研究科、法学研究科の外国語科目については、当該言語の辞書の持込み使用を認めます。経済学研究科、現代社会学研究科、理学研究科の外国語科目については、英和辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。（全ての研究科共に、電子辞書不可）

３．外国人が受験するときは、日本語に関する試験を追加することがあります。

４．先端情報学研究科の外国語科目については、外部テスト（TOEIC もしくは TOEFL iBT）の評価をもって語学力を測ります。

５．生命科学研究科の外国語科目については、外部テスト（TOEIC）の評価をもって語学力を測ります。

６．専門科目（生命科学）は、生化学（物質生物化学、代謝生物化学）、分子・細胞生物学（分子生物学、細胞生物学）の分野から出題しますので、全てを解答してください。

【秋季募集】

７．先端情報学研究科の出願者に対するプレゼンテーションは、「これまでの研究内容と大学院における研究計画」について、10 分程度（研究内容５分及び研究計画５分）口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください。）。

【春季募集】

８．理学研究科数学専攻の出願者に対する面接は、事前に提出された「指定課題」の内容等について試問を行います。

９．理学研究科物理学専攻の出願者に対する面接は、事前に提出された「指定課題」の内容について 15 分間程度発表（黒板・プロジェクター等の装置使用可）を課し、その内容等について試問を行います。

10．先端情報学研究科の出願者に対するプレゼンテーションは、「これまでの研究内容と大学院における研究計画」について、15 分程度（研究内容 10 分及び研究計画５分）口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください。）。

（注）秋季・春季募集とも受験者は、試験開始 20 分前までに試験会場（集合場所）に入室してください。**試験開始後 30 分以上遅刻した者は受験を認めません。**また、各時限とも途中退室は認めません。

**(6) 選考方法**

本学において行う筆答試験、口述試験及び出願書類を総合判定して合否を決定します。

ジョイント・プログラム（税務エキスパート）の希望者については、上記合格者の中から選抜します。その際に、マネジメント研究科および法学研究科は自己申告資料をそれぞれ加味して総合的に合否を判定します。

## ２．社会人入試

### ２−１．社会人一般入試

#### (1)　入試日程

| 実施時期 | 出願期間（期限当日の消印有効） | 試験日 | 合否通知（発送日） | 入学手続期間 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | １次手続 | ２次手続 |
| 秋季（9月） | 7月25日(木)～8月7日(水) | 9月14日(土) | 9月26日(木) | 9月27日(金)～10月7日(月) | 12月26日(木)～1月14日(火) |
| 春季（2月） | 1月7日(火)～1月16日(木) | 2月15日(土) | 2月27日(木) | 2月28日(金)～3月12日(水) | |

※　ジョイント・プログラム(税務エキスパート）を含みます。

#### (2)　募集研究科

マネジメント研究科、法学研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、理学研究科、先端情報学研究科を対象とします。

生命科学研究科への出願を希望する方は、一般入試にて募集しています。

#### (3)　出願資格

**【マネジメント研究科・現代社会学研究科以外】**

次のいずれかに該当し、入学時までに企業、官公庁、教育・研究機関等において２年以上の勤務経験を有する者とします。

① 大学を卒業した者又は 2025 年３月までに卒業見込みの者

② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年３月までに卒業見込みの者

③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年３月までに修了見込みの者

④ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者

※　理学研究科、先端情報学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。

※　上記④により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、次の期日までに必ず本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※　資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

**【事前資格審査期限】　秋季募集（９月）　2024年 7月18日(木)【必着】**
**春季募集（２月）　2024年12月17日(火)【必着】**

**【申　請　書　類】　出願書類一式**

**【マネジメント研究科】**

次のいずれかに該当する者とします。

**＜入学時までに 2 年以上の勤務・社会活動経験を有する者で、かつ①～④のいずれかに該当する者＞**

① 大学を卒業した者又は 2025 年 3 月までに卒業見込みの者

② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに卒業見込みの者

③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

④ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者

**＜企業、官公庁、教育・研究機関等において勤務経験を有する者で、かつ入学後も同一職場内で身分を有する者かつ⑤～⑧のいずれかに該当する者＞**

⑤ 大学を卒業した者又は 2025 年 3 月までに卒業見込みの者

⑥ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに卒業見込みの者

⑦ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

⑧ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

⑤～⑧の勤務経験の具体例

ア．企業、各種社会団体、官公庁、自治体などにおける活動の実績がある者。

イ．弁護士、司法書士、弁理士、会計士、税理士、行政書士、中小企業診断士などの資格を有する独立事業者

※ 上記④及び⑧により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、次の期日までに必ず本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※ 資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

**【事前資格審査期限】 秋季募集（９月） 2024年 7月18日(木)【必着】**
**春季募集（２月） 2024年12月17日(火)【必着】**

**【申 請 書 類】 出願書類一式**

※ 出願にあたっては、入学後の履修計画や研究計画等について、マネジメント研究科と充分に相談しておいてください。

**【現代社会学研究科】**

次のいずれかに該当し、入学時までに個人又は組織において職業に就き、自ら生計を立てた経験を有する 22 歳以上の者とします。

① 大学を卒業した者又は 2025 年３月までに卒業見込みの者

② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は 2025 年３月までに授与される見込みの者

③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年３月までに修了見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年３月までに修了見込みの者

⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2025 年３月までに修了見込みの者

⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年３月までに修了見込みの者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2025 年３月までに修了見込みの者

⑧ 文部科学大臣の指定した者

⑨ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年３月 31 日までに 22 歳に達する者

※ 現代社会学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。

※ 上記⑦又は⑨により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、次の期日までに必ず本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※ 資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

※ 自身が出願資格に該当するか確認したい方は余裕を持って、本学教学センター（大学院担当）に問い合わせてください。

**【事前資格審査期限】 秋季募集（９月） 2024年 7月18日(木)【必着】**
**春季募集（２月） 2024年12月17日(火)【必着】**
**【申 請 書 類】 出願書類一式**

**(4) 出願書類**

① 志願票（本学所定用紙）

② 最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）

③ 最終出身学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

ア．中国の大学又は大学院を卒業（修了）した者にあっては、出身大学の卒業証明書又は修了証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学歴証書電子注冊備案表」

のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。＜中国教育部のホームページ： https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp＞

イ．中国の大学又は大学院に在学中の者にあっては、在学中の卒業見込証明書又は修了見込証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学籍在線験証報告」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。

ウ．卒業（修了）見込証明書を提出した者は、入学時までに卒業（修了）証明書の提出を求めます。

④ 志望調査票（本学所定用紙）
（マネジメント研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、先端情報学研究科のみ提出）

⑤ 志望理由書（本学所定用紙）
（法学研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、理学研究科、先端情報学研究科のみ提出）

⑥ 研究計画書（本学所定用紙）
（マネジメント研究科、法学研究科、現代社会学研究科、外国語学研究科、理学研究科、先端情報学研究科のみ提出）

⑦ 業績報告書（本学所定用紙）
（現代社会学研究科以外提出）

⑧ 履歴書（本学所定用紙）

⑨ 勤務先の責任者からの推薦書（本学所定用紙）（厳封したもの）（取得できる者）
（マネジメント研究科のみ提出）

⑩ 自己推薦書・活動実績報告書（本学所定用紙）
（マネジメント研究科の出願資格⑤～⑧より出願しようとする者のみ提出）

出願資格の「⑤～⑧の具体例」において「ア」に該当する者は、自己推薦書及び活動実績報告書（参考資料があれば添付してください。）を提出してください。

出願資格の「⑤～⑧の具体例」において「イ」に該当する者は、自己推薦書を提出してください。

⑪ 自己申告資料
＜マネジメント研究科ジョイント・プログラム（税務エキスパート）のみ提出＞
61 ページに該当する書類を提出してください。
＜法学研究科ジョイント・プログラム（税務エキスパート）のみ提出＞
61 ページ①～④に該当する資格等の証明書又は客観的に判断できるものを提出してください。

⑫ 社会人としての業績・実績等の証明書類（様式任意）
（現代社会学研究科のみ提出）

社会人としての業績・実績を証明する書類がある場合に提出してください。特に無い場合及び証明書類が用意できない場合は提出不要です。なお、提出された証明書類は原則返却しませんので、予めご留意ください。

⑬ 外部テストの成績が証明できるもの
（先端情報学研究科のみ提出）
出願期間を含む過去 2 年以内に実施された TOEIC 又は TOEFLiBT の成績が証明できるもの
TOEIC であれば「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表」の原本とコピーを提出してください。原本とコピーを照合の後、原本は返却します。なお、使用できる TOEIC は、「Listening & Reading」の公開テスト又は IP テストが対象となります（出願時に TOEIC の「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表」を提出できない場合は、口述試

験時に提出してください。また出願書類に同封し提出済みの場合であっても、別の受験回のスコアを試験当日に持参して提出することも可とします）。
TOEFLiBT であれば「スコアレポート」を提出してください。

⑭　書類送付先住所届（本学所定用紙）

⑮　在留カードの写し及びパスポートの写し（外国人の方のみ提出）

在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。

日本に在留していない外国人の方は、パスポートの写し（氏名・顔写真）のみを提出してください。

### (5) 試験科目

**秋季募集　　試験日：９月１４日(土)**

| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>経営学と会計学のどちらか１題を選択。いずれの問題とも各分野の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学<br>研究科 | 法律学<br>専攻 | 13:00～14:50（110分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学<br>専攻 | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

＜ジョイント・プログラム（税務エキスパート）＞

| 研究科・専攻 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>会計学の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学研究科<br>法律学専攻 | 13:00～14:50（110分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

※ジョイント・プログラムの試験問題は、他の法学研究科法律学専攻と同一問題とします。

| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| 現代社会学研究科<br>現代社会学専攻 | | 10:00～11:30（90分）<br>小論文（100 点）<br>与えられたテーマに基づき、小論文としてまとめる。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 口述試験 |
| 外国語学<br>研究科 | | 13:00～14:30（90分） | 面接<br>（面接時間は受験票参照）<br>（備考４を参照） |
| | 英米語学<br>専攻 | 英語（100点） | |
| | 中国語学<br>専攻 | 中国語（100点） | |
| | 言語学<br>専攻 | 専門科目<br>13:00～14:50（110分）<br>専門基礎（100点）<br>専攻について研究計画書に対応した専門分野の一般的、基本的知識を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|---|
| 理学<br>研究科 | 数学専攻 | 10:00～11:00（60分）<br>英語（150点） | 13:00～14:30（90分）<br>数学（300点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 16:00～<br>面接 |
| | 物理学専攻 | 英語（150点） | 物理学（300点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 面接 |

| 研究科・専攻 | 外国語科目 | 口述試験 | |
|---|---|---|---|
| 先端情報学研究科<br>先端情報学専攻 | ― | 13:00～ | |
| | ―<br>（備考５参照） | プレゼンテーション（100点）<br>（備考６参照） | 面接 |

**春季募集　　試験日：２月１５日（土）**

| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>経営学と会計学のどちらか１題を選択。いずれの問題とも各分野の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学研究科 | | 13:00～14:50（110分） | ― |
| | 法律学専攻 | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学専攻 | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

＜ジョイント・プログラム（税務エキスパート）＞

| 研究科・専攻 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>会計学の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学研究科<br>法律学専攻 | 13:00～14:50（110分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

※ジョイント・プログラムの試験問題は、他の法学研究科法律学専攻と同一問題とします。

| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| 現代社会学研究科<br>現代社会学専攻 | | 10:00～11:30（90分）<br>小論文（100 点）<br>与えられたテーマに基づき、小論文としてまとめる。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照 |
| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 口述試験 |
| 外国語学研究科 | | 13:00～14:30（90分） | 面接<br>（面接時間は受験票参照）<br>（備考４を参照） |
| | 英米語学専攻 | 英語（100点） | |
| | 中国語学専攻 | 中国語（100点） | |
| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 口述試験 |
| 外国語学研究科 | 言語学専攻 | 13:00～14:50（110分）<br>専門基礎（100点）<br>専攻について研究計画書に対応した専門分野の一般的、基本的知識を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |

| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 外国語科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|---|
| 理学研究科 | 数学専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>数学（200 点）<br>数学についての一般的、基本的知識を問う。 | 13:00～14:00（60分）<br>英語（100 点） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 物理学専攻 | 物理学（200 点）<br>物理学についての一般的知識を問う。 | 英語（100 点） | |
| 先端情報学研究科<br>先端情報学専攻 | | 外国語科目 | 口述試験 | |
| | | ― | 13:00～ | |
| | | ―<br>（備考５参照） | プレゼンテーション（100点）<br>（備考６参照） | 面接 |

備　　考

１．法学研究科の出願者は、専門科目の受験科目を志願票に記入してください。

２．理学研究科の外国語科目については、英和辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。（全ての研究科共に、電子辞書不可）

３．面接は、出願者が提出した研究計画書に基づき行います（先端情報学研究科は除く）。

４．外国語学研究科英米語学専攻・中国語学専攻の出願者に対する面接では、志願理由などの確認に加え、事前に提出された研究計画書に対応した専門分野の一般的、基本的知識についての試問を行います。

５．先端情報学研究科の外国語科目については、外部テスト（TOEIC もしくは TOEFL iBT）の評価をもって語学力を測ります。

６．先端情報学研究科の出願者に対するプレゼンテーションは、「大学院における研究計画と業績報告書」について、15 分程度（研究内容 10 分及び研究計画５分）口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください）。

７．秋季・春季募集とも受験者は、試験開始 20 分前までに試験会場（集合場所）に入室してください。**試験開始後 30 分以上遅刻した者は受験を認めません。**また、各時限とも途中退室は認めません。

**(6)　選考方法**

本学において行う筆答試験、口述試験及び出願書類を総合判定して合否を決定します。

ジョイント・プログラム（税務エキスパート）の希望者については、上記合格者の中から選抜します。その際に、マネジメント研究科および法学研究科は自己申告資料をそれぞれ加味して総合的に合否を判定します。

## ２−２．社会人推薦入試

### (1) 入試日程

| 実施時期 | 出願期間（期限当日の消印有効） | 試験日 | 合否通知（発送日） | 入学手続期間 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1次手続 | 2次手続 |
| 秋季（9月） | 7月25日(木)～8月7日(水) | 9月14日(土) | 9月26日(木) | 9月27日(金)～10月7日(月) | 12月26日(木)～1月14日(火) |
| 春季（2月） | 1月7日(火)～1月16日(木) | 2月15日(土) | 2月27日(木) | 2月28日(金)～3月12日(水) | |

※　ジョイント・プログラム(税務エキスパート）は除く。

### (2) 募集研究科

法学研究科、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科を対象とします。

### (3) 出願資格・推薦要件

次の①～⑤のいずれかに該当し、入学時までに企業、官公庁、教育・研究機関等において 2 年以上の勤務経験を有し、入学後も同一職場内で身分を有する者で、かつ、⑥に該当する者で、事前に資格審査を受け、資格を認められた者が該当する者とします。加えて、理学研究科（数学専攻）、先端情報学研究科、生命科学研究科を志願される方は、⑦に該当する者とします。

① 大学を卒業した者又は 2025 年 3 月までに卒業見込みの者
② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者
④ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者
⑤ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者
⑥ 入学後の勉学について明確な志向と意欲を持ち、実社会で活躍を目指す者
⑦ 勤務先の責任者から推薦書を提出できる者

①～⑤の勤務経験の具体例

【法学研究科】

ア. 企業、各種社会団体、官公庁、自治体などにおける活動の実績がある者
イ. 弁護士、司法書士、弁理士、会計士、税理士、行政書士、中小企業診断士などの資格を有する独立事業者

【理学研究科（物理学専攻)、先端情報学研究科】

ア. 企業、各種社会団体、官公庁、自治体などにおける活動の実績がある者

※　理学研究科、先端情報学研究科および生命科学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。
※　事前に資格審査を行いますので、次の期日までに必ず本学教学センター（大学院担当）に申請してください。
※　資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。
※　出願にあたっては、入学後の履修計画や研究計画等について、志望する研究科と十分に相談しておいてください。

**【事前資格審査期限】　秋季募集（９月）　2024年 7月18日(木)【必着】**
**春季募集（２月）　2024年12月17日(火)【必着】**
**【申　請　書　類】　出願書類一式**

**(4)　出願書類**

① 志願票(本学所定用紙)
② 最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）
③ 最終出身学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書
④ 研究計画書（本学所定用紙）
⑤ 履歴書（本学所定用紙）
⑥ 志望書（本学所定用紙）
⑦ 推薦書（本学所定用紙）（厳封したもの）及び業績報告書（本学所定用紙）
＜法学研究科、理学研究科（物理学専攻）を志願される方で推薦書の提出ができない方は、⑧の自己推薦書及び活動実績報告書を提出すること。＞
業績報告書に参考資料があれば添付してください。
⑧ 自己推薦書（本学所定用紙）及び活動実績報告書（本学所定用紙）
＜法学研究科、理学研究科（物理学専攻）を志願される方で⑦の推薦書の提出ができない方は提出すること。＞
出願資格・推薦要件の「①～⑤の勤務経験の具体例」において「ア」に該当する者は、自己推薦書及び活動実績報告書を提出してください。また、「イ」に該当する者は、自己推薦書を提出してください。
活動実績報告書に参考資料があれば添付してください。
⑨ 書類送付住所届（本学所定用紙）
⑩ 在留カードの写し及びパスポートの写し（外国人の方のみ提出）
在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。
日本に在留していない外国人の方は、パスポートの写し（氏名・顔写真）のみを提出してください。

**(5)試験科目**

**秋季募集　試験日：９月１４日(土)　春季募集　試験日：２月１５日(土)**

| 研究科・専攻 | | 口述試験 |
|---|---|---|
| 法学研究科 | 法律学専攻 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学専攻 | |
| 理学研究科 | 数学専攻 | |
| | 物理学専攻 | |
| 先端情報学研究科 | 先端情報学専攻 | |
| 生命科学研究科 | 生命科学専攻 | |

（注）受験者は、面接時間開始 20 分前までに所定の場所に集合してください。**面接開始後 30 分以上遅刻した者は受験を認めません。**

**(6)　選考方法**

本学において行う口述試験と出願書類を総合判定して合否を決定します。

## ３．外国人留学生入試

### (1)　入試日程

| 実施時期 | 出願期間（期限当日の消印有効） | 試験日 | 合否通知（発送日） | 入学手続期間 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1次手続 | 2次手続 |
| 秋季（9月） | 7月25日（木）～8月7日(水) | 9月14日(土) | 9月26日(木) | 9月27日(金)～10月7日(月) | 12月26日(木)～1月14日(火) |
| 春季（12月） | 10月31日（木）～11月12日(火) | 12月14日(土) | 12月25日(水) | 12月26日(木)～1月14日(火) | |

### (2)　募集研究科

経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、外国語学研究科、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科を対象とします。

ただし、経済学研究科は秋季募集の入試結果により、募集しない領域科目があるので、事前に教学センター（大学院担当）までお問い合わせください。

### (3)　出願資格

日本国籍を有しない者で、修学に必要な程度の日本語能力（生命科学研究科は英語能力でも可）があり、次の各号のいずれかに該当する者とします。

① 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

② 日本において、外国人留学生として大学を卒業した者又は 2025 年 3 月までに卒業見込みの者

③ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに修了見込みの者

④　本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

※　理学研究科、先端情報学研究科および生命科学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。

※　上記④により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、次の期日までに本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※　資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

**【事前資格審査期限】　秋季募集（９月）　　2024年7月18日(木)【必着】**
**春季募集（12月）　　2024年10月24日(木)【必着】**
**【申　請　書　類】　出願書類一式**

### (4)　出願書類

①　志願票（本学所定用紙）

②　出身大学の成績証明書（厳封したもの）

③　出身大学の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

ア．中国の大学又は大学院を卒業（修了）した者にあっては、出身大学の卒業証明書又は修

了証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学歴証書電子注冊備案表」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。＜中国教育部のホームページ：　https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp＞

イ．中国の大学又は大学院に在学中の者にあっては、在学中の卒業見込証明書又は修了見込証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学籍在線験証報告」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。

ウ．卒業（修了）見込証明書を提出した者は、入学時までに卒業（修了）証明書の提出を求めます。

④　入学願書（本学所定用紙）

必ず本人自筆にて日本語で記入してください。

⑤　志望理由書（本学所定用紙）

（法学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科のみ提出）

日本語又は英語で詳細に記述してください。

⑥　研究計画書（本学所定用紙）

（経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、外国語学研究科、理学研究科、先端情報学研究科のみ提出）経済学研究科、法学研究科、外国語学研究科の出願者は日本語で、マネジメント研究科と理学研究科、先端情報学研究科の出願者は日本語又は英語で詳細に記述してください。

⑦　推薦書（本学所定用紙）

最終出身大学の学長又は研究指導教員の推薦書。推薦書が日本語又は英語以外の言語でかれている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。

⑧　日本語能力試験Ｎ１（旧試験の１級）の成績証明書

(財)日本国際教育協会（日本国外では国際交流基金）の実施するもの

**Ａ　経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、外国語学研究科、先端情報学研究科**の出願者は、必ず提出してください。ただし、日本語能力試験を受けていない場合は、日本語講師、日本政府在外公館員等に日本語能力認定書（本学所定用紙）への記入作成を依頼して提出してください。

**Ｂ　理学研究科、生命科学研究科**の出願者は、提出不要です。

⑨　志望調査票（本学所定用紙）

（経済学研究科、マネジメント研究科、先端情報学研究科のみ提出）

⑩　外部テストの成績が証明できるもの

（先端情報学研究科のみ提出）

出願期間を含む過去 2 年以内に実施された TOEIC 又は TOEFLiBT の成績が証明できるもの

TOEIC であれば「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表」の原本とコピーを提出してください。原本とコピーを照合の後、原本は返却します。なお、使用できる TOEIC は、「Listening & Reading」の公開テスト又は IP テストが対象となります(出願時に TOEIC の「公式認定証」又は「IP テストの個人成績表」を提出できない場合は、口述試験時に提出してください。また出願書類に同封し提出済みの場合であっても、別の受験回のスコアを試験当日に持参して提出することも可とします）。

TOEFLiBT であれば「スコアレポート」を提出してください。

（生命科学研究科のみ）

出願期間を含む過去２年以内に実施されたテストの「公式認定証」又は「京都産業大学において団体受験した IP テストの個人成績表」の原本とコピーを提出してください。原本とコピーを照合の後、原本は返却します。なお、使用できる TOEIC は、「Listening & Reading」の公開テスト又は IP テストが対象となります。（出願時に TOEIC の「公式認定証」又は「京都産業大学において団体受験した IP テストの個人成績表」を提出できない場合は、口述試験時に提出してください。また出願書類に同封し提出済みの場合であっても、別の受験回のスコアを試験当日に持参して提出することも可とします。）

⑪　書類送付先住所届（本学所定用紙）

⑫　在留カードの写し及びパスポートの写し

在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。

日本に在留していない外国人の方は、パスポート（氏名・顔写真の部分）の写しのみを提出してください。

### (5)　試験科目

#### ①　第１次審査

出願書類に基づき、出願資格の有無を審査します。審査の結果、出願資格があると認められた場合のみ第２次審査を受験することができます。この場合に「受験票」を交付しますので、第２次審査の際には必ず持参してください。

#### ②　第２次審査

**秋季募集　試験日：９月１４日(土)**

| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|---|
| 経済学研究科<br>経済学専攻 | | 10:00～11:20（80分）<br>英語（100点） | 13:00～14:50（110分）<br>経済学（200点）<br>ミクロ経済学・マクロ経済学の基本的知識を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | | 10:00～11:00（60分）<br>日本語（100点） | 13:00～14:00（60分）<br>専門（100点）<br>経営学の基本的な理解を問う。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学<br>研究科 | 法律学<br>専攻 | 10:00～11:20（80分）<br>日本語（100点） | 13:00～14:30（90分）<br>専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | <br>面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学<br>専攻 | 日本語（100点） | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 研究科・専攻 | | 専門科目 | 外国語科目 | 口述試験 |
| 外国語学<br>研究科 | 英米語学<br>専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 13:00～14:20（80分）<br>英語（100点）※１ | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 中国語学<br>専攻 | 専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 中国語（100点）※２ | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 外国語学研究科 | 言語学専攻 | 専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | 日本語（100点） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
| 理学研究科 | 数学専攻 | 10:00～11:00（60分） | 13:00～14:30（90分） | 15:30～ |
| | | 英語（150点） | 数学（300点）<br>数学についての一般的、基本的知識を問う。 | 面接 |
| | 物理学専攻 | 英語（150点） | 物理学（300点）<br>物理学についての一般的、基本的学力を問う。 | 面接 |
| 先端情報学研究科<br>先端情報学専攻 | | 専門科目 | 外国語科目 | 口述試験 |
| | | 10:00～11:30（90分） | ― | 13:00～ |
| | | 情報やコンピュータに関する基礎科目(数学を含む)（150点） | ―<br>(備考３参照) | プレゼンテーション（150点）<br>（備考４参照）<br>面接 |
| 生命科学研究科<br>生命科学専攻 | | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
| | | ― | 10:00～11:30（90分） | 13:00～ |
| | | 英語（100点）<br>（備考３参照） | 生命科学（150点）<br>生命科学についての一般的、基本的知識を問う。<br>出題言語については、出願者に応じて定める。 | 面接 |

※１　母語が英語の場合、日本語能力も評価の対象とします。

※２　母語が中国語の場合、日本語能力も評価の対象とします。

**春季募集　　試験日：１２月１４日(土)**

| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 専門科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|---|
| 経済学研究科<br>経済学専攻 | | 9:00～10:20（80分） | 11:00～12:50（110分） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | | 英語（100点） | 経済学（200点）<br>ミクロ経済学・マクロ経済学の基本的知識を問う。 | |
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | | 9:00～10:00（60分） | 11:00～12:00（60分） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | | 日本語（100点） | 専門（100点）<br>経営学の基本的な理解を問う。 | |
| 法学研究科 | 法律学専攻 | 9:00～10:20（80分） | 11:00～12:30（90分） | |
| | | 日本語（100点） | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学専攻 | 日本語（100点） | 専門（100点）<br>専攻を希望する領域科目を１科目選択（49ページ参照） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 外国語学研究科 | 英米語学専攻 | 9:00～10:20（80分） | 11:00～12:30（90分） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | | 英語（100点）※１ | 専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | |
| | 中国語学専攻 | 中国語（100点）※２ | 専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。 | |

<table>
<tr><td rowspan="2">外国語学<br>研究科</td><td rowspan="2">言語学<br>専攻</td><td>日本語（100点）</td><td colspan="2">専門基礎（100点）<br>専攻についての一般的、基本的知識を問う。</td><td>面接<br>（面接時間は受験票参照）</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">理学<br>研究科</td><td rowspan="2">数学専攻</td><td>9:00～10:00（60分）</td><td colspan="2">11:00～12:30（90分）</td><td>15:30～</td></tr>
<tr><td>英語（150点）</td><td colspan="2">数学（300点）<br>数学についての一般的、基本的知識を問う。</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>物理学専攻</td><td>英語（150点）</td><td colspan="2">物理学（300点）<br>物理学についての一般的、基本的学力を問う。</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">先端情報学研究科<br>先端情報学専攻</td><td>専門科目</td><td>外国語科目</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td>9:00～10:30（90分）</td><td>―</td><td colspan="2">13:00～</td></tr>
<tr><td>情報やコンピュータに関する基礎科目(数学を含む)<br>（150点）</td><td>―<br>（備考３参照）</td><td>プレゼンテーション（150点）<br>（備考４参照）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">生命科学研究科<br>生命科学専攻</td><td>外国語科目</td><td colspan="2">専門科目</td><td>口述試験</td></tr>
<tr><td>―</td><td colspan="2">10:00～11:30（90分）</td><td>13:00～</td></tr>
<tr><td>英語（100点）<br>（備考３参照）</td><td colspan="2">生命科学（150点）<br>生命科学についての一般的、基本的知識を問う。<br>出題言語については、出願者に応じて定める。</td><td>面接</td></tr>
</table>

※１ 母語が英語の場合、日本語能力も評価の対象とします。

※２ 母語が中国語の場合、日本語能力も評価の対象とします。

備　　考

１．法学研究科の出願者は、専門科目の受験科目を志願票に記入してください。

２．マネジメント研究科の外国語科目については、辞書の持込み使用を認めます。経済学研究科の外国語科目については、当該言語の辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。理学研究科の外国語科目については、英和辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。（全ての研究科共に、電子辞書不可）

３．外部テスト（TOEIC もしくは TOEFL iBT）の評価をもって語学力を測ります。

４．先端情報学研究科の出願者に対するプレゼンテーションは、「これまでの研究内容と大学院における研究計画」について、10 分程度（研究内容５分及び研究計画５分）口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください）。

５．秋季・春季募集とも受験者は、試験開始 20 分前までに試験会場（集合場所）に入室してください。**試験開始後 30 分以上遅刻した者は受験を認めません。**また、各時限とも途中退室は認めません。

### (6)　選考方法

本学において行う筆答試験、口述試験及び出願書類を総合判定して合否を決定します。

# Ⅲ. 入試制度（博士後期課程）

## １．一般入試

### (1)　入試日程

| 実施時期 | 出願期間（期限当日の消印有効） | 試験日 | 合否通知（発送日） | 入学手続期間 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | １次手続 | ２次手続 |
| 秋季※１（9月） | 7月25日(木)～8月7日(水) | 9月14日(土)<br>※１ | 9月26日(木) | 9月27日(金)<br>～10月7日(月) | 12月26日(木)<br>～1月14日(火) |
| 春季（2月） | 1月7日(火)～1月16日(木) | 2月15日(土) | 2月27日(木) | 2月28日(金)～3月12日(水) | |

※１　**秋季募集は先端情報学研究科のみ実施。**

### (2)　募集研究科

経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科を対象とします。

### (3)　出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

① 修士の学位を有する者、専門職学位課程を修了した者又は 2025 年 3 月までに学位を授与される見込みの者

② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

⑥ 文部科学大臣の指定した者

⑦ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者

※　理学研究科、先端情報学研究科および生命科学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。

※　上記⑦により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、次の期日までに必ず本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※　資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

**【事前資格審査期限】　秋季募集（９月）　2024年 7月18日(木)【必着】**
**春季募集（２月）　2024年12月17日(火)【必着】**

**【申　請　書　類】　出願書類一式**

**(4) 出願書類**

① 志願票（本学所定用紙）

② 最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）

③ 最終出身学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

ア．中国の大学又は大学院を卒業（修了）した者にあっては、出身大学の卒業証明書又は修了証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学歴証書電子注冊備案表」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。＜中国教育部のホームページ： https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp＞

イ．中国の大学又は大学院に在学中の者にあっては、在学中の卒業見込証明書又は修了見込証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学籍在線験証報告」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。

ウ．卒業（修了）見込証明書を提出した者は、入学時までに卒業（修了）証明書の提出を求めます。

④ 修士論文の写し又はそれに相当するもの、及びその要旨（400 字詰め原稿用紙 10 枚以内）
＜先端情報学研究科に出願資格・推薦要件⑦により出願する方は、「④修士論文の写しまたはそれに相当するもの、及びその要旨」として、「⑦研究計画書」ならびに「業績報告書（研究業績、本学所定用紙）」を提出してください。＞

⑤ 専攻科目調査票（本学所定用紙）

⑥ 志望理由書(本学所定用紙)
(マネジメント研究科、法学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科のみ提出)

⑦ 研究計画書(本学所定用紙)
(マネジメント研究科、法学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科のみ提出)

⑧ 外国語科目（英語）申請書（本学所定用紙）及び成績証明書（原本）
(先端情報学研究科のみ提出)

英語の試験を免除するため「外国語科目（英語）申請書」を提出してください。また、申請項目のイ～ウを選択した場合は「成績証明書」を提出してください。証明書の発行が間に合わない等の理由で提出ができない場合は、合格証書等の原本を提出してください。
（提出された証書の原本は入学試験当日に返却します。）

ア.口述試験のプレゼンテーションを英語で行う

イ.過去 2 年以内の TOEIC で 625 点以上取得

ウ.過去 2 年以内の TOEFL iBT で 61 点以上取得

⑨ 書類送付先住所届（本学所定用紙）

⑩ 在留カードの写し及びパスポートの写し（外国人の方のみ提出）

在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。

日本に在留していない外国人の方は、パスポート（氏名・顔写真の部分）の写しのみを提出してください。

### (5) 試験科目

**秋季募集　試験日：９月１４日(土)**

| 研究科・専攻 | 外国語科目 | 口述試験 | |
|---|---|---|---|
| 先端情報学研究科<br>先端情報学専攻 | ― | 11:30～ | |
| | （備考４参照） | プレゼンテーション（100点）<br>（備考５参照） | 面接 |

**春季募集　試験日：２月１５日(土)**

| 研究科・専攻 | | 外国語科目 | 口述試験 |
|---|---|---|---|
| 経済学研究科<br>経済学専攻 | | 10:00～11:30（90分）<br>英語（100点） | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| マネジメント研究科<br>マネジメント専攻 | | 10:00～11:30（90分）<br>英語（100点）<br>ただし、英語が母語の外国人は日本語の試験とする。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 法学<br>研究科 | 法律学<br>専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。<br>ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | <br>面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| | 法政策学<br>専攻 | 英語、ドイツ語、フランス語、中国語のうちから１言語選択。<br>ただし、外国人の場合は母語以外の選択とする。 | 面接<br>（面接時間は受験票参照） |
| 理学<br>研究科 | 数学専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>英語（100点） | 13:00～<br>面接 |
| | 物理学専攻 | 英語（100点） | 面接 |

| 先端情報学研究科<br>先端情報学専攻 | 外国語科目 | 口述試験 | |
|---|---|---|---|
| | ― | 11:00～ | |
| | （備考４参照） | プレゼンテーション（100点）<br>（備考５参照） | 面接 |
| 生命科学研究科<br>生命科学専攻 | 10:00～11:30（90分）<br>英語（100点） | 12:00～<br>面接（プレゼンテーションを含む）<br>（備考６参照） | |

備　　考

１．法学研究科の出願者は、外国語科目の受験科目を志願票に記入してください。

２．外国語科目については、辞書の持込み使用を認めます。経済学研究科、法学研究科の外国語科目については、当該言語の辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。理学研究科の外国語科目については、英和辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。生命科学研究科の外国語科目については、英和辞書と和英辞書の持込み使用を認めます。（全ての研究科共に、電子辞書不可）

３．口述試験は、修士論文又はそれに相当するもの、出願者の専攻科目及び関連科目等について試問します。マネジメント研究科は修士論文又はそれに相当するものについての口頭発表及び面接を行います。

４．外部テストの評価、または口述試験での英語によるプレゼンテーションをもって語学力を測ります。

５．先端情報学研究科のプレゼンテーションは、修士論文又はそれに相当するものについて、20 分程度口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください）。

6．生命科学研究科のプレゼンテーションは、修士論文又はそれに相当するものについて、10分程度口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください。）。プレゼンテーション（10 分程度）を含んだ面接を実施します。

7．受験者は、試験開始 20 分前までに試験会場（集合場所）に入室してください。**試験開始後30 分以上遅刻した者は受験を許可しません。**また、試験中の途中退室は認めません。

### (6) 選考方法

本学において行う筆記試験、口述試験及び出願書類を総合判定して合否を決定します。

## ２．社会人推薦入試

### (1)　入試日程

| 出願期間（期限当日の消印有効） | 試験日 | 合否通知（発送日） | 入学手続期間 |
|---|---|---|---|
| 1月7日(火)～1月16日(木) | 2月15日(土) | 2月27日(木) | 2月28日(金)～3月12日(水) |

### (2)　募集研究科

マネジメント研究科、法学研究科、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科を対象とします。

### (3)　出願資格・推薦要件

次の①～⑥のいずれかに該当し、入学時までに企業、官公庁、教育・研究機関等において 2 年以上の勤務経験を有し、入学後も同一職場内で身分を有する者で、かつ、⑦に該当する者で、事前に資格審査を受け資格を認められた者が該当するものとします。加えて、生命科学研究科は、⑧に該当する者とします。

① 修士の学位又は専門職学位を有する者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者
② 外国において、修士の学位もしくは専門職学位に相当する学位を授与され修了した者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者
④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者
⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者
⑥ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 26 歳に達する者
⑦ 入学後の勉学について明確な志向と意欲を持ち、実社会で活躍を目指す者
⑧ 勤務先の責任者から推薦書を提出できる者

①～⑥の勤務経験の具体例

【マネジメント研究科、法学研究科】

ア．　企業、各種社会団体、官公庁、自治体などにおける活動の実績がある者
イ．　弁護士、司法書士、弁理士、会計士、税理士、行政書士、中小企業診断士などの資格を有する独立事業者

【理学研究科（物理学専攻)、先端情報学研究科】

ア．　企業、各種社会団体、官公庁、自治体などにおける活動の実績がある者

※　理学研究科、先端情報学研究科および生命科学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。
※　事前に資格審査を行いますので、次の期日までに必ず本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※　資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

※　出願にあたっては、入学後の履修計画や研究計画等について、志望する研究科と十分に相談しておいてください。

**【事前資格審査期限】　2024年12月17日(火)【必着】**

**【申　請　書　類】　出願書類一式**

**(4)　出願書類**

①　志願票（本学所定用紙）

②　最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）

③　最終出身学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

④　修士論文の写し又はそれに相当するもの、及びその要旨（400 字詰め原稿用紙 10 枚以内）

＜先端情報学研究科に出願資格・推薦要件⑥により出願する方は、「④修士論文の写しまたはそれに相当するもの、及びその要旨」として、「⑤研究計画書」ならびに「⑧業績報告書（研究業績）」を提出してください。＞

⑤　研究計画書（本学所定用紙）

⑥　履歴書（本学所定用紙）

⑦　志望書（本学所定用紙）

⑧　推薦書（本学所定用紙）（厳封したもの）及び業績報告書（本学所定用紙）

＜マネジメント研究科、法学研究科、理学研究科物理学専攻、先端情報学研究科を志願される方で推薦書の提出ができない方は、⑨の自己推薦書及び活動実績報告書を提出してください。＞

業績報告書に参考資料があれば添付してください。

⑨　自己推薦書（本学所定用紙）及び活動実績報告書（本学所定用紙）

＜マネジメント研究科、法学研究科、理学研究科物理学専攻、先端情報学研究科を志願される方で⑧の推薦書の提出ができない方は、提出してください。＞

出願資格・推薦要件の「①～⑥の勤務経験の具体例」において「ア」に該当する者は、自己推薦書及び活動実績報告書を提出してください。また、「イ」に該当する者は、自己推薦書を提出してください。

活動実績報告書に参考資料があれば添付してください。

⑩　書類送付先住所届（本学所定用紙）

⑪　在留カードの写し及びパスポートの写し（外国人の方のみ提出）

在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。

日本に在留していない外国人の方は、パスポート（氏名・顔写真の部分）の写しのみを提出してください。

**(5) 試験科目**

**試験日：２月１５日(土)**

<table>
<tr><td colspan="2">研究科・専攻</td><td colspan="3">口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="2">マネジメント研究科<br>マネジメント専攻</td><td colspan="3" rowspan="5">面接<br>（面接時間は受験票参照）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">法学研究科</td><td>法律学専攻</td></tr>
<tr><td>法政策学専攻</td></tr>
<tr><td rowspan="2">理学研究科</td><td>数学専攻</td></tr>
<tr><td>物理学専攻</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">先端情報学研究科<br>先端情報学専攻</td><td colspan="3">10:00～</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレゼンテーション（100点）<br>（備考１参照）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">生命科学研究科<br>生命科学専攻</td><td>外国語科目</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td>10:00～11:30（90分）</td><td colspan="2" rowspan="2">面接<br>（プレゼンテーションを含む）<br>（備考２参照）<br>（面接時間は受験票参照）</td></tr>
<tr><td>英語（100点）</td></tr>
</table>

備　　考

１．先端情報学研究科のプレゼンテーションは、修士論文又はそれに相当するものについて、20 分程度口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください。）。

２．生命科学研究科のプレゼンテーションは、修士論文又はそれに相当するものについて、10 分程度口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください。）。プレゼンテーション（10 分程度）を含んだ面接を実施します。

３．外国語科目については、英和辞書と和英辞書の持込み使用を認めます（電子辞書不可）。

４．受験者は、面接時間開始20分前までに所定の場所に集合してください。**面接開始後30分以上遅刻した者は受験を許可しません。**

**(6) 選考方法**

本学において行う口述試験と出願書類を総合判定して合否を決定します。

## ３．外国人留学生入試

### (1)　入試日程

| 出願期間（期限当日の消印有効） | 試験日 | 合否通知（発送日） | 入学手続期間 |
|---|---|---|---|
| 10月31日（木）～11月12日(火) | 12月14日(土) | 12月25日(水) | 12月26日(木)～1月14日(火) |

### (2)　募集研究科

経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科を対象とします。

### (3)　出願資格

日本国籍を有しない者で、修学に必要な程度の日本語能力（生命科学研究科は英語能力でも可）があり、次の各号のいずれかに該当する者とします。

① 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

② 日本の大学院において、外国人留学生として修士の学位又は専門職学位を有する者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

③ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月までに授与される見込みの者

⑤ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者

※　理学研究科、先端情報学研究科および生命科学研究科の出願者は、希望する研究指導教員と事前に連絡をとってください。

※　上記⑤により出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、次の期日までに本学教学センター（大学院担当）に申請してください。

※　資格審査は、出願書類をもとに行います。ただし、出願書類のうち「①志願票」については取扱銀行収納印がない状態でご用意ください。

**【事前資格審査期限】　2024年10月24日(木)【必着】**

**【申　請　書　類】　出願書類一式**

### (4)　出願書類

①　志願票（本学所定用紙）

②　最終出身学校の成績証明書（厳封したもの）

③　最終出身学校の卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書

ア．中国の大学又は大学院を卒業（修了）した者にあっては、出身大学の卒業証明書又は修了証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学歴証書電子注冊備案表」のＰＤＦファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。＜中国教育部のホームページ：　https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp＞

イ．中国の大学又は大学院に在学中の者にあっては、在学中の卒業見込証明書又は修了見込証明書の他に、中国教育部のホームページへ登録し、「教育部学籍在線験証報告」のＰＤＦ

ファイルを入手後、Ａ４用紙に印刷したものを併せて提出してください。

ウ．卒業（修了）見込証明書を提出した者は、入学時までに卒業（修了）証明書の提出を求めます。

④　修士論文の写し又はそれに相当するもの、及びその要旨

＜先端情報学研究科に出願資格・推薦要件⑤により出願する方は、「④修士論文の写しまたはそれに相当するもの、及びその要旨」として、「⑦研究計画書（本学所定用紙）」ならびに「⑬業績報告書（本学所定用紙）」を提出してください。＞日本語又は英語で記述してください。

⑤　入学願書（本学所定用紙）

必ず本人自筆にて日本語で記入してください。ただし、経済学研究科及びマネジメント研究科については、必ず本人自筆にて日本語又は英語で記入してください。

⑥　志望理由書（本学所定用紙）

（法学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科のみ提出）

日本語又は英語で詳細に記述してください。

⑦　研究計画書（本学所定用紙）

（経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、理学研究科、先端情報学研究科のみ提出）法学研究科は日本語で、経済学研究科・マネジメント研究科、理学研究科、先端情報学研究科は日本語又は英語で詳細に記述してください。

⑧　推薦書（本学所定用紙）

最終出身大学の学長又は研究指導教員の推薦書。ただし、経済学研究科、マネジメント研究科については、研究指導教員又はそれに相当する教員等の推薦書とします。

推薦書が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、日本語又は英語の訳文を添付してください。

⑨　日本語能力試験Ｎ１（旧試験の１級）の成績証明書

(財)日本国際教育協会（日本国外では国際交流基金）の実施するもの

**Ａ　経済学研究科（「専門科目」を日本語で受験する者）、マネジメント研究科（「専門科目」を日本語で受験する者）、法学研究科**の出願者は、必ず提出してください。ただし、日本語能力試験を受けていない場合は、日本語講師、日本政府在外公館員等に日本語能力認定書（本学所定用紙）への記入作成を依頼してください。

**Ｂ　経済学研究科（「専門科目」を英語で受験する者）、マネジメント研究科（「専門科目」を英語で受験する者）、理学研究科、先端情報学研究科、生命科学研究科**の出願者は提出不要です。

⑩　専攻科目調査票（本学所定用紙）

⑪　書類送付先住所届（本学所定用紙）

⑫　在留カードの写し及びパスポートの写し

在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（氏名・顔写真の部分）の写しを提出してください。

日本に在留していない外国人の方は、パスポート（氏名・顔写真の部分）の写しのみを提出してください。

⑬　業績報告書（本学所定用紙）

（先端情報学研究科に出願資格・推薦要件⑤により出願する方のみ提出）日本語又は英語で詳細に記述してください。

⑭　外国語科目（英語）申請書（本学所定用紙）及び成績証明書（原本）
（先端情報学研究科のみ提出）

英語の試験を免除するため「外国語科目（英語）申請書」を提出してください。また、申請項目のイ～ウを選択した場合は「成績証明書」を提出してください。証明書の発行が間に合わない等の理由で提出ができない場合は、合格証書等の原本を提出してください。（提出された証書の原本は入学試験当日に返却します。）

ア. 口述試験のプレゼンテーションを英語で行う
イ. 過去 2 年以内の TOEIC で 625 点以上取得
ウ. 過去 2 年以内の TOEFL iBT で 61 点以上取得

**(5)　試験日・試験科目**

**①　第１次審査**

出願書類に基づき、出願資格の有無を審査します。審査の結果、出願資格があると認められた場合のみ第２次審査を受験することができます。この場合に「受験票」を交付しますので、第２次審査の際には必ず持参してください。

**② 第２次審査　試験日：１２月１４日(土)**

<table>
<tr><th colspan="2">研究科・専攻</th><th>外国語科目</th><th>専門科目</th><th>口述試験</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">経済学研究科<br>経済学専攻</td><td>9:00～10:00（60分）</td><td>11:00～12:30（90分）</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td>英語（100点）</td><td>経済学（100点）<br>研究計画書に対応した専門分野について日本語又は英語で問う。</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">マネジメント研究科<br>マネジメント専攻</td><td>9:00～10:00（60分）</td><td>11:00～12:30（90分）</td><td rowspan="2">面接</td></tr>
<tr><td>英語（100点）</td><td>専門（100点）<br>マネジメントに関して、研究計画書に対応した専門分野について、日本語又は英語で問う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">法学<br>研究科</td><td rowspan="2">法律学専攻</td><td>9:00～10:00（60分）</td><td>11:00～12:30（90分）</td><td rowspan="2">面接</td></tr>
<tr><td>英語（100点）</td><td>専門（100点）<br>専攻を希望する科目を１科目選択<br>（56ページ参照）</td></tr>
<tr><td></td><td>法政策学<br>専攻</td><td>英語（100点）</td><td>専門（100点）<br>専攻を希望する科目を１科目選択<br>（56ページ参照）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td rowspan="3">理学<br>研究科</td><td rowspan="2">数学専攻</td><td>9:00～10:00（60分）</td><td>11:00～12:30（90分）</td><td>14:00～</td></tr>
<tr><td>英語（100点）</td><td>数学（100点）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>物理学専攻</td><td>英語（100点）</td><td>物理学（100点）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">先端情報学研究科<br>先端情報学専攻</td><td>外国語科目</td><td colspan="2">口述試験</td></tr>
<tr><td>―</td><td colspan="2">11:00～</td></tr>
<tr><td>（備考５参照）</td><td>プレゼンテーション（100点）<br>（備考６参照）</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">生命科学研究科<br>生命科学専攻</td><td colspan="3">口述試験</td></tr>
<tr><td colspan="3">11:00～</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレゼンテーション（100点）<br>（備考７参照）</td><td>面接</td></tr>
</table>

備　　考

１．経済学研究科、マネジメント研究科を出願する者は、専門科目の受験する言語を志願票に記入してください。なお、マネジメント研究科の専門科目を「英語」で受験する者は、外国語科目の試験を免除します。

２．法学研究科の出願者は、専門科目の受験科目を志願票に記入してください。

３．経済学研究科の外国語科目及び専門科目を「英語」で受験する者については、当該言語の辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。マネジメント研究科の外国語科目については辞書の持込み使用を認めます。法学研究科の外国語科目については、当該言語の辞書の持ち込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。理学研究科の外国語科目については英和辞書の持込み使用を認めます（専門用語辞書不可）。（全ての研究科共に、電子辞書不可）

４．口述試験は、修士論文又はそれに相当するもの、出願者の専攻科目及び関連科目等について試問します。マネジメント研究科は、修士論文又はそれに相当するものについての口頭発表及び面接を行います。

５．外部テストの評価、または口述試験での英語によるプレゼンテーションをもって語学力を測ります。

６．先端情報学研究科のプレゼンテーションは、修士論文又はそれに相当するものについて、20 分程度口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください）。

7．生命科学研究科のプレゼンテーションは、修士論文又はそれに相当するものについて、10分程度口頭発表を課します（液晶プロジェクター等を使用してください。）。また、出願者の専攻科目及び関連科目等について、英語で試問します。

8．受験者は、試験開始20分前までに試験会場（集合場所）に入室してください。**試験開始後30分以上遅刻した者は受験を認めません。**また、試験中の途中退室は認めません。

**(6) 選考方法**

本学において行う筆答試験、口述試験及び出願書類を総合判定して合否を決定します。

# Ⅳ. 教員の紹介

## １．博士前期課程・修士課程

・担当教員を変更することがあります。出願にあたっては、本学の Web サイトで必ず確認するか、教学センター（大学院担当）へ問い合わせてください。

**■経済学研究科　経済学専攻**

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教　授　加茂　知幸 | ミクロ経済学 | 一般均衡理論、数理経済学 |
| 教　授　栗田　高光 | 計量経済学 | 経済時系列分析 |
| 教　授　小田　秀典 | ミクロ経済学 | 成長分配理論、実験経済学、実験哲学、計算可能性 |
| 教　授　寺井　晃 | マクロ経済学 | マクロ経済学と日本経済、物価・期待インフレ率研究 |
| 教　授　飯田　善郎 | 公共経済学 | 公共財の自発的供給問題についての理論および実験研究 |
| 教　授　八塩　裕之 | 財政学・租税論 | 税・財政が経済に及ぼす影響に関する実態分析 |
| 教　授　福井　唯嗣 | 社会保障論 | 個人属性の異質性とその変化を前提とした公共政策のあり方 |
| 教　授　菅原　宏太 | 地方財政論 | 地方分権下における地域間競争、地域間財政力格差 |
| 教　授　塩津　ゆりか | 日本経済論 | 人口減少社会での社会保障・地域公共財の多様な担い手育成と経済成長 |
| 准教授　関田　静香 | 日本経済論 | 家計行動の実証分析 |
| 教　授　武田　史郎 | 環境経済学 | 排出量取引制度等の地球温暖化対策の分析、応用一般均衡分析 |
| 教　授　西村　佳子 | 金融論 | 金融教育と家計の資産選択行動 |
| 教　授　坂井　功治 | 金融論 | 企業金融、金融機関、金融市場に関する実証研究 |
| 教　授　北村　紘 | 産業組織論 | 市場成長の動学分析、垂直的取引制限の経済理論分析 |
| 教　授　大西　辰彦 | 中小企業論 | 地域産業が抱える諸問題について、中小企業論の視点から研究 |
| 教　授　広田　茂 | 地域経済学 | 地域経済学、健康と社会経済因子の研究 |
| 教　授　倉本　宜史 | 地域経済学<br>交通経済学 | まちづくり・地域政策に関する実態把握と実証分析 |
| 教　授　寺崎　友芳 | 都市経済学 | 都市構造分析、地域経済分析 |
| 教　授　大川　良文 | 国際経済論 | 貿易政策が経済・社会厚生に与える影響に関する理論研究 |
| 准教授　川越　吉孝 | 国際貿易論 | 国際貿易及び多国籍企業に関する理論的研究 |
| 教　授　玉木　俊明 | 経済史 | 16－18世紀の北ヨーロッパ貿易史 |
| 教　授　齊藤　健太郎 | 西洋経済史 | イギリス労使関係史、労働市場の比較史的分析 |
| 教　授　山内　太 | 日本経済史 | 日本における近世・近代村落社会経済史 |
| 教　授　大坂　仁 | 開発経済学 | アジアの経済成長 |
| 教　授　岑　智偉 | 中国経済論 | 中国の経済成長と経済循環についての理論・実証分析 |
| 教　授　藤井　秀昭 | エネルギー資源論 | エネルギー経済と持続可能な発展に関する研究 |

## ■マネジメント研究科　マネジメント専攻

| 分野 | 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|---|
| 戦略と組織 | 教授 (注) 上野 継義 | アメリカ経営史 | 日米の人事管理の比較史的研究 |
| | 教授 松本 和明 | 日本経営史 | 日本経営史・企業家史 |
| | 教授 岡部 曜子 | 情報組織 | 組織の情報システム、日本企業のグローバル化 |
| | 准教授 赤岡 広周 | 経営管理論 | 安全性・利便性・効率性のマネジメント |
| | 教授 篠原 健一 | 雇用関係論 | 作業組織の国際比較研究 |
| マーケティングとイノベーション | 教授 中野 幹久 | 生産マネジメント | サプライチェーン・マネジメント |
| | 教授 久保 亮一 | ベンチャービジネス | イノベーション、ベンチャー企業の戦略プロセス |
| | 教授 具 承桓 | イノベーションマネジメント | イノベーション戦略、グローバルサプライチェーン及び生産ネットワーク、日本企業の競争力衰退要因分析 |
| | 教授 (注) 吉田 裕之 | マーケティング戦略史 | 日本企業のマーケティング戦略行動の動態的分析 |
| | 教授 福冨 言 | マーケティング・リサーチ | マーケティング、営業・販売・サービス管理 |
| | 教授 森永 泰史 | デザインマネジメント | デザインマネジメント |
| | 教授 涌田 龍治 | 消費者行動論 | リピート購買と顧客維持 |
| | 教授 李 為 | 社会調査論 | 理論指向の実証社会学研究、国際比較研究 |
| | 准教授 上元 亘 | サービス・マーケティング | サービス・エンカウンターにおける従業員と顧客の行動 |
| | 准教授 大杉 卓三 | インクルーシブ・ビジネス | ソーシャル・ビジネス、社会的企業、インクルーシブ・ビジネス、ICT4D |
| アカウンタビリティとガバナンス | 教授 在間 敬子 | 環境マネジメント | 環境配慮型社会の形成に関する理論的・実証的研究 |
| | 准教授 古村 公久 | ソーシャル・ビジネス | 企業と社会の相互作用 |
| | 准教授 伊吹 勇亮 | コーポレート・コミュニケーション | 広告・PR会社の戦略と組織、コーポレート・コミュニケーション |
| | 教授 宮永 健太郎 | ソーシャル・ガバナンス | 持続可能な発展とソーシャル・ガバナンス |
| | 教授 橋本 武久 | 会計 | 簿記、財務会計、会計史 |
| | 教授 松下 真也 | 財務会計 | 会計制度、会計システム |
| | 准教授 伊藤 正隆 | 管理会計 | 管理会計、予算管理 |
| | 教授 近藤 隆史 | 原価管理 | マネジメントコントロール、業績評価 |
| | 教授 行待 三輪 | 国際会計 | 国際会計、企業の利益調整に関する研究（棚卸資産を中心として） |
| | 教授 吉岡 一郎 | 会計監査 | 財務諸表監査、会計倫理 |
| | 教授 (注) 中井 透 | 財務管理 | 中小企業経営とファイナンス |
| | 教授 石光 裕 | 財務諸表分析 | 企業価値評価と財務会計 |
| | 教授 諏澤 吉彦 | 保険論 | 組織経営におけるリスクマネジメント・ファイナンスに関する研究 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■法学研究科　法律学専攻

| 教員名 | | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|---|
| 教授 | 須賀　博志 | 憲法、<br>日本近代法史 | 近代日本憲法史、近代日本警察史、ドイツ国家教会関係法 |
| 教授 | 中山　茂樹 | 憲法 | 生命倫理政策への国家・法の関与のあり方 |
| 准教授 | 若狭　愛子 | 行政法 | 国家賠償法における裁量免責 |
| 教授 | 高嶌　英弘 | 民法、医事法、<br>消費者法 | 契約上の付随義務論、生殖補助医療の法規制、消費者法教育の体系化 |
| 教授 | 坂東　俊矢 | 民法（消費者法） | 消費者契約から民法のあり方を考える |
| 教授 | 古谷　貴之 | 民法 | 契約責任の現代化―ＥＵ法との比較― |
| 教授 | 山本　宣之 | 民法 | 債務の最終的負担者 |
| 教授 | 渡邉　泰彦 | 民法（家族法） | SOGIと家族法 |
| 教授 | 上野　達也 | 民法 | 民法典と特別私法 |
| 教授 | 木俣　由美 | 商法 | 株主の権利と少数派株主の保護 |
| 教授 | 佐藤　誠 | 商法、会社法 | コーポレートガバナンス、企業結合規制 |
| 教授 (注) | 吉澤　卓哉 | 商法 | 保険の仕組みと保険契約法・保険業への参入規制 |
| 教授 | 岡本　昌子 | 刑法 | 違法性論、英米刑法 |
| 教授 | 中村　邦義 | 刑法 | 刑事責任論の研究 |
| 准教授 | 増井　敦 | 刑法 | 犯罪論における集合的行為の責任原理 |
| 教授 | 草鹿　晋一 | 民事訴訟法、<br>司法制度論 | 上訴、ＡＤＲ、司法アクセス、法教育 |
| 教授 | 日渡　紀夫 | 民事訴訟法 | 審理過程論 |
| 教授 | 成田　秀樹 | 刑事訴訟法 | 捜査とプライヴァシーの保障 |
| 教授 | 高畠　淳子 | 社会保障法 | 失業時の生活保障に関する日独比較 |
| 教授 | 野一色　直人 | 税法 | 租税手続法、消費税法 |
| 准教授 | 木村　吉孝 | 税法 | 租税回避の研究 |
| 教授 | 戸田　五郎 | 国際法 | 欧州の出入国管理・庇護政策 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■法学研究科　法政策学専攻

| 教員名 | | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|---|
| 教授 | 久保　秀雄 | 法社会学 | 法社会学における理論と調査の結合 |
| 教授 (注) | 太田　照美 | 行政法 | 環境行政の重要問題 |
| 教授 | 岩永　昌晃 | 労働法 | 労働法の適用対象に関する比較法研究 |
| 教授 (注) | 芝田　文男 | 社会保障政策 | 社会保障を対象とする政策及び行政過程の研究 |
| 教授 | 岩本　誠吾 | 国際法 | 軍事・安全保障にかかわる国際法、特に人道法 |
| 教授 | 滝田　豪 | 東洋政治史 | 中国政治、中国の農村社会 |
| 教授 | 植村　和秀 | 政治思想史 | ナショナリズムの比較研究 |
| 教授 | 中井　歩 | 政治過程論 | 現代日本の政治過程 |
| 教授 | 中谷　真憲 | 政治機構論 | 仏第五共和制下における公共政策と政治文化 |
| 教授 | 芦立　秀朗 | 行政学 | (1)援助行政（ＯＤＡ）　(2)ガバナンス |
| 教授 | 喜多見富太郎 | 行政学 | 地方自治体の経営規律 |
| 教授 | 浦中　千佳央 | 地域治安政策 | 警察の概念に関する政治学的アプローチを用いての研究、治安政策、社会安全学の研究 |
| 教授 | 焦　従勉 | 環境ガバナンス論 | 環境政治とガバナンス、環境ガバナンスの国際比較 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■現代社会学研究科　現代社会学専攻

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教　授　奥田　睦子 | スポーツ社会学 | インクルーシブ・スポーツに関するスポーツ社会学研究 |
| | 連絡先：mutsuko@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　落合　恵美子 | 家族とジェンダーの社会学 | ジェンダーの社会学・アジア家族の比較研究 |
| | 連絡先：ochiai.emiko@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　加藤　敦典 | 文化人類学 | ベトナムにおけるローカル・ガバナンスについての文化人類学的調査 |
| | 連絡先：akato@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　金光　淳 | 地域、文化、産業の計量分析 | 社会ネットワーク分析を利用したアート・フェスティバルの計量分析 |
| | 連絡先：kanamitsu@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　滋野　浩毅 | 地域社会学、地域政策 | 縮小社会における地域づくり |
| | 連絡先：shigeno@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　鈴木　康久 | 水文化論 | 水が地域社会に果たす役割 |
| | 連絡先：ksuzuki@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　惣脇　宏 | 教育政策学 | 教育政策、エビデンスに基づく教育 |
| | 連絡先：sowaki@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　藤野　敦子 | 人口学・労働社会学 | 人口や労働問題の実証研究 |
| | 連絡先：afujino@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　ポンサピタック サンティ　ピヤ | 広告論、メディア社会学 | 広告研究、広告の国際比較、タイＢＬドラマ |
| | 連絡先：piya@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　耳野　健二 | 社会哲学 | 19世紀ドイツにおける市民社会の法と哲学 |
| | 連絡先：mimino@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　山中　千恵 | ポピュラー文化・メディア研究 | 東アジアマンガ・コミックス研究 |
| | 連絡先：c.yamanaka@cc.kyoto-su.ac.jp | |
| 教　授　脇浜　紀子 | 地域メディア・地域情報・放送政策 | 情報伝達のデジタル化とメディアの地域性に関する研究 |
| | 連絡先：wakihama@cc.kyoto-su.ac.jp | |

## ■外国語学研究科　英米語学専攻

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教　授　加野　まきみ | コーパス言語学 | コーパスに基づく語彙・語法・語義分析、借用語の定着過程、メタファー研究 |
| 教　授 (注) ゴーベル ピーター バートレット | 応用言語学、英語教育学 | 英語学習における学習心理と学習行動の関係 |
| 教　授　鈴木　孝明 | 心理言語学、言語習得 | 母語獲得、第二言語習得、言語処理 |
| 教　授　髙橋　眞理 | 言語学、英語学 | 自然言語の文法理論、統語論、形態論、日・英語比較 |
| 教　授　難波　和彦 | 応用言語学 | 日英バイリンガルのコードスイッチングへの文法的アプローチ |
| 教　授　大和　隆介 | 英語教育学 | 第二言語習得における個人差要因、学習ストラテジーと自律学習 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

### ■外国語学研究科　中国語学専攻

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教授　池田　昌広 | 東洋史学 | 東アジア書籍史の研究 |
| 教授　関　光世 | 中国語学 | 通訳・翻訳論及びその中国語教育への応用 |
| 教授　畠山　香織 | 中国文化、比較文化 | 異文化受容における日本と中国の比較研究 |
| 准教授　澤田　達也 | 中国語学 | 中国語音韻史、中国辞書史 |

### ■外国語学研究科　言語学専攻

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教授　今西　利之 | 日本語学(現代語)・日本語教育学 | 現代日本語の文法、日本語教育の教材開発、多文化共生社会と日本語教育 |
| 教授　北上　光志 | ロシア語学 | テクスト言語学の観点からのロシア語研究 |
| 教授　小林　満 | イタリア語学・イタリア文学 | イタリア語史、イタリア文学史から見たガリレオ・ガリレイ |
| 教授　島　憲男 | ドイツ語・言語学 | 意味論や機能的類型論を中心としたドイツ語の文法・構文研究、独日英語を対象とした対照研究 |
| 教授　玉村　禎郎 | 日本語学、日本語史 | 意味論・語彙論・文字表記論を中心とした日本語研究（古典語・現代語）日本語における文法化の研究 |
| 教授　平塚　徹 | フランス語・フランス文学 | フランス語を中心とする認知言語学的研究 |
| 教授 (注) 吉田　和彦 | 印欧語比較言語学、歴史言語学、一般言語学 | 言語の構造と歴史に対する理論的および記述的研究 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

### ■理学研究科　数学専攻

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教授　牛瀧　文宏 | 位相幾何学 | (1)位相変換群論とその周辺分野<br>(2)小中高の算数科・数学科での教員研修開発 |
| 教授　宇野　勝博 | 代数学 | (1)代数構造の表現論<br>(2)初等中等教育における算数科・数学科での指導方法 |
| 教授　田中　立志 | 応用代数学 | 数論、多重ゼータ値 |
| 教授　濱野　佐知子 | 複素解析学 | 多変数関数論、ポテンシャル論 |
| 教授　三好　博之 | 数理情報学 | 理論コンピュータ科学および他分野との境界領域、圏論、計算の哲学 |
| 教授 (注) 村瀬　篤 | 整数論 | 多変数保型形式の整数論 |
| 教授　柳下　浩紀 | 非線形解析学 | 非線形拡散方程式の定性的理論 |
| 教授　山田　修司 | 低次元位相幾何学 | 結び目理論および３次元多様体論 |
| 教授　渡辺　達也 | 関数解析学 | 変分的手法による楕円型偏微分方程式の研究 |
| 准教授　伊藤　悠 | 確率論 | 確率解析、ラフパス解析 |
| 准教授　緒方　勇太 | 微分幾何学 | 曲線曲面論 |
| 准教授　中嶋　祐介 | 環論および表現論 | 可換環論、環の表現論、特異点論 |
| 准教授　難波　隆弥 | 確率過程論 | 確率過程の極限定理 |
| 准教授　西　慧 | 応用解析学 | 反応拡散系にみられる局在解のダイナミクス |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■理学研究科　物理学専攻

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教授　伊藤　豊 | 磁性 | 磁性と超伝導 |
| 教授　岩下　靖孝 | ソフトマター物理学 | ソフトマターの実験研究 |
| 教授　内田　和之 | 計算物質科学 | 計算物質科学、ナノサイエンス |
| 教授　大森　隆 | エネルギー・環境科学 | 電気化学技術による環境問題への取り組み |
| 教授　河北　秀世 | 天文学 | 銀河系の化学進化、太陽系の起源 |
| 教授　岸本　真 | 観測宇宙物理学 | 超高空間分解能観測による巨大ブラックホール系探査 |
| 教授　齊藤　国靖 | 非平衡物理学 | 非平衡系に関する理論的および数値的研究 |
| 教授　佐川　英夫 | 惑星大気観測 | 惑星大気・表層環境の観測的研究 |
| 教授　下村　晋 | 構造物性 | X線散乱による構造物性研究 |
| 教授　鈴木　信三 | 分子物質科学 | 炭素ナノ構造体の物理化学 |
| 教授　瀬川　耕司 | 量子機能物性 | トポロジカル物質の実験研究 |
| 教授　髙木　征弘 | 惑星気象学 | 惑星大気の大循環、放射過程、地球流体力学 |
| 教授　高谷　康太郎 | 気象力学 | 地球流体力学、異常気象、気候変動の研究 |
| 教授（注）谷川　正幸 | 非線形光学 | 分光学の基礎、光学結晶、ナノ構造 |
| 教授　新山　雅之 | ハドロン物理学 | 特異な構造を持つハドロンに関する実験研究 |
| 教授　山縣　淳子 | ハドロン原子核物理学 | 媒質中におけるハドロンの性質に関する理論研究 |
| 教授　山上　浩志 | 固体電子論 | 強相関磁性 f 電子系化合物の電子構造の理論的研究 |
| 教授　米原　厚憲 | 宇宙物理学 | 重力レンズ天文学 |
| 准教授　安藤　紘基 | 惑星大気科学 | 電波科学による惑星大気の観測的研究 |
| 准教授　小郷原　一智 | 地球物理学 | 火星大気の統計解析、気象学における深層学習の応用 |
| 准教授　西道　啓博 | 宇宙論 | 数理モデル・天文観測データ・統計学の融合による宇宙論研究 |
| 准教授　樋口　有理可 | 天体力学 | 太陽系と銀河系における小天体の軌道進化 |

（注）2025年度の募集は行いません。

## ■先端情報学研究科　先端情報学専攻

| 教員名 | | | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|---|---|
| 教授 | | 赤崎　孝文 | 生体機能解析 | 中枢神経と相互作用するブレインマシンインターフェイスの研究 |
| 教授 | | 秋山　豊和 | 分散システム | 分散システムの構築・運用技術に関する研究 |
| 教授 | | 伊藤　浩之 | 生体情報工学 | 脳の視覚情報処理メカニズムの生理学的および数理科学的研究 |
| 教授 | | 井上　博之 | 組込みシステムセキュリティ | ネットワークにつながる組込みシステムの情報セキュリティ |
| 教授 | | 大本　英徹 | データベース | オブジェクト指向マルチメディアデータベースに関する研究 |
| 教授 | | 岡田　英彦 | 計算知能 | 計算知能に関する研究 |
| 教授 | | 荻野　晃大 | 感性工学 | 個人のWell-beingを向上させるための感性システムの研究 |
| 教授 | | 荻原　剛志 | ソフトウェアアーキテクチャ | コンポーネントの柔軟な結合に基づくソフトウェア開発手法 |
| 教授 | | 奥田　次郎 | 人間情報処理 | 脳活動計測による人間の高次認知情報処理の研究とその工学的・社会的応用 |
| 教授 | (注) | 蚊野　浩 | 画像・映像処理工学 | デジタル画像処理やインターネットに基づく映像メディア技術の研究 |
| 教授 | (注) | 河合　由起子 | データマイニング | ビッグデータ分析に基づく情報検索・推薦・可視化の研究開発 |
| 教授 | | 川村　新 | 音声音響処理デバイス | 人間やロボットの聴覚を支援するデバイスの研究開発 |
| 教授 | | 小林　聡 | 情報論理学 | 非古典論理とその計算機科学への応用 |
| 教授 | | 瀬川　典久 | センサネットワーク | 無線センサネットワークと情報可視化 |
| 教授 | | 田中　宏喜 | 脳視覚情報処理 | 脳の視覚情報表現に関する研究 |
| 教授 | | 玉田　春昭 | ソフトウェア工学、ソフトウェアセキュリティ | (1)ソフトウェアの保護手法に関する研究<br>(2)プログラムの可読性、理解容易性に関する研究<br>(3)バージョン管理の学習支援に関する研究 |
| 教授 | | 中島　伸介 | ソーシャルコンピューティング | (1)ユーザの状況を考慮した情報推薦技術に関する研究<br>(2)情報技術に基づくヘルスケアサポートに関する研究 |
| 教授 | | 新實　治男 | コンピュータアーキテクチャ | (超)並列コンピュータシステムの構成方式に関する研究 |
| 教授 | | 林原　尚浩 | ディペンダブルシステム | 分散アルゴリズム/システムの信頼性およびセキュリティ向上に関する研究 |
| 教授 | | 平井　重行 | インタラクションデザイン | (1)ユビキタスコンピューティング環境とユーザインタフェース<br>(2)アート・デザインなど表現のためのインタラクティブコンテンツ制作支援環境 |
| 教授 | | 水口　充 | インタラクションデザイン | (1)ヒューマンコンピュータインタラクション<br>(2)エンタテインメントコンピューティング |
| 教授 | | 宮森　恒 | 情報検索 | 人と共生するAI応用のための自然言語と映像の理解・生成・検索 |
| 教授 | | 吉村　正義 | ハードウェアセキュリティ | 安全性、保全性、可用性、信頼性を有する計算機に関する研究 |
| 准教授 | | 赤岩　香苗 | 応用可積分系 | 可積分系数学の工学的応用および行列固有値問題の解法に関する研究 |
| 准教授 | | 永谷　直久 | バーチャルリアリティ | (1)感覚知覚拡張に基づく人間拡張技術<br>(2)VRシステムを用いた節足動物の行動生態解明 |
| 准教授 | | 棟方　渚 | インタラクティブシステム | ヒューマンコンピュータ（ロボット）インタラクション、バイオフィールドバックのエンタテインメント応用 |
| 准教授 | | 安田　豊 | 分散ネットワーク | 分散ネットワークシステムの研究 |

（注）2025年度の募集は行いません。

## ■生命科学研究科　生命科学専攻

| 教員名 | 領域科目名 | 研究テーマ |
|---|---|---|
| 教授　板野　直樹 | 加齢生物学 | がん休眠治療の基盤研究とアンチエイジング技術の創成 |
| 教授　加藤　啓子 | 動物神経解剖学 | 情動系神経回路の応答機構に関する研究 |
| 教授　金子　貴一 | ゲノム生物学 | ゲノム情報比較を基盤とした環境微生物の多様性に関する研究 |
| 教授　河邊　昭 | 分子集団遺伝学 | 植物を材料としたDNA変異の維持機構の解明 |
| 教授　木村　成介 | 植物分子発生生物学 | 植物の葉の形態の多様性と表現型可塑性の研究 |
| 教授　黒坂　光 | 神経糖鎖生物学 | 神経発生における糖転移酵素の機能解析 |
| 教授　佐藤　賢一 | 発生情報学 | 生殖細胞、初期胚およびがん細胞の生物学的機能に関する研究 |
| 教授　白鳥　秀卓 | 器官形成学 | 器官形成における形態変化の分子機構 |
| 教授　髙桑　弘樹 | 感染症学 | インフルエンザウイルスの生態と病原性発現のメカニズムの解析 |
| 教授　武田　洋幸 | 発生遺伝学<br>実験発生学 | ゼブラフィッシュ、メダカを用いた脊椎動物の発生原理の研究 |
| 教授　津下　英明 | 構造生物学 | タンパク質複合体の構造と機能研究 |
| 教授　寺地　徹 | 植物分子遺伝学 | 高等植物オルガネラの分子遺伝学 |
| 教授　千葉　志信 | 分子生物学 | タンパク質の合成・成熟・局在化に関する研究 |
| 教授　中村　暢宏 | 発生細胞生物学 | 細胞内オルガネラによる発生制御システムの研究 |
| 教授　野村　哲郎 | 動物育種学 | 動物の育種ならびに保全における集団遺伝学の応用 |
| 教授　前田　秋彦 | 環境衛生学 | 病原微生物の生態学的および分子生物学的解析 |
| 教授　三嶋　雄一郎 | RNA制御学 | 個体発生過程におけるRNA制御原理 |
| 教授　本橋　健 | 植物生理学・生化学 | 高等植物葉緑体における機能制御 |
| 教授　横山　謙 | 膜エネルギー代謝学 | (1)エネルギー変換系膜タンパク質の構造・機能の解明<br>(2)生体エネルギー変換と老化・寿命に関する研究 |
| 教授　若林　憲一 | 細胞生物学<br>生物物理学<br>植物生理学 | (1)緑藻類の光反応行動の分子機構と生理的意義<br>(2)真核生物繊毛の運動調節機構 |
| 准教授　潮田　亮 | 分子細胞生物学 | (1)タンパク質の一生：細胞内タンパク質の品質管理機構と疾患<br>(2)分子シャペロンやレドックス因子による細胞機能制御 |
| 准教授　川根　公樹 | 分子細胞社会学 | 細胞死の視点から行う腸管の恒常性と疾患の研究 |
| 准教授　三瓶　由紀 | 自然共生システム学 | 持続可能な地域づくりにむけた社会システム |
| 准教授　高橋　純一 | 動物分子生態学 | 昆虫の機能利用および絶滅危惧動物の保全 |
| 准教授　棚橋　靖行 | 獣医薬理学 | 平滑筋収縮調節メカニズムおよび平滑筋機能疾患の病態解明 |
| 准教授　西田　貴明 | 環境政策学 | グリーンインフラの評価と計画策定に関する研究 |
| 准教授　西野　佳以 | ウイルス学 | ウイルス性神経・精神疾患の発症メカニズムに関する研究 |

## ２．博士後期課程

・担当教員を変更することがあります。出願にあたっては、本学のWebサイトで必ず確認するか、教学センター（大学院担当）へ問い合わせてください。

### ■経済学研究科　経済学専攻

| 科目名 | 研究指導教員名 | | |
|---|---|---|---|
| 数理経済学特殊研究 | 教授 | | 加茂　知幸 |
| 計量経済学特殊研究 | 教授 | D.Phil | 栗田　高光 |
| ミクロ経済学特殊研究 | 教授 | D.Phil (注) | 小田　秀典 |
| マクロ経済学特殊研究 | 教授 | | 寺井　晃 |
| 公共経済学特殊研究 | 教授 | 博士(国際公共政策) | 飯田　善郎 |
| 日本租税論特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 八塩　裕之 |
| 社会保障論特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 福井　唯嗣 |
| 地方財政論特殊研究 | 教授 | | 菅原　宏太 |
| 環境経済学特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 武田　史郎 |
| 金融論特殊研究 | 教授 | | 西村　佳子 |
| 金融論特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 坂井　功治 |
| 産業組織論特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 北村　紘 |
| 都市経済論特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 寺崎　友芳 |
| 国際経済論特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 大川　良文 |
| 経済史特殊研究 | 教授 | 博士(文学) | 玉木　俊明 |
| 西洋経済史特殊研究 | 教授 | Ph.D | 齊藤　健太郎 |
| 日本経済史特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 山内　太 |
| 開発経済学特殊研究 | 教授 | Ph.D | 大坂　仁 |
| 中国経済論特殊研究 | 教授 | 博士(経済学) | 岑　智偉 |
| エネルギー資源論特殊研究 | 教授 | 博士(ｴﾈﾙｷﾞｰ科学) (注) | 藤井　秀昭 |

（注）2025年度の募集は行いません。

### ■マネジメント研究科　マネジメント専攻

| 分野 | 科目名 | 研究指導教員名 | | |
|---|---|---|---|---|
| S | アメリカ経営史特殊研究 | 教授 | 博士（経営学） (注) | 上野　継義 |
| | 情報組織特殊研究 | 教授 | 博士（国際公共政策学） | 岡部　曜子 |
| | 雇用関係論特殊研究 | 教授 | 博士（政策科学） | 篠原　健一 |
| M | 生産マネジメント特殊研究 | 教授 | 博士（経営学） | 中野　幹久 |
| | ベンチャービジネス特殊研究 | 教授 | | 久保　亮一 |
| | イノベーションマネジメント特殊研究 | 教授 | 博士（経済学） | 具　承桓 |
| | マーケティング戦略史特殊研究 | 教授 | (注) | 吉田　裕之 |
| | マーケティング・リサーチ特殊研究 | 教授 | 博士（商学） | 福冨　言 |
| | 社会調査特殊研究 | 教授 | | 李　為 |
| A | 環境マネジメント特殊研究 | 教授 | 博士（経済学）<br>博士（工学） (注) | 在間　敬子 |
| | コーポレート・コミュニケーション特殊研究 | 准教授 | | 伊吹　勇亮 |
| | 会計特殊研究 | 教授 | 博士（経営学） | 橋本　武久 |
| | 原価管理特殊研究 | 教授 | 博士（経営学） | 近藤　隆史 |
| | 国際会計特殊研究 | 教授 | 博士（経営学） | 行待　三輪 |
| | 会計監査特殊研究 | 教授 | | 吉岡　一郎 |
| | 財務管理特殊研究 | 教授 | 博士（マネジメント） (注) | 中井　透 |
| | 財務諸表分析特殊研究 | 教授 | 博士（経営学） | 石光　裕 |
| | 保険論特殊研究 | 教授 | 博士（商学） | 諏澤　吉彦 |

（注）2025年度の募集は行いません。

S：戦略と組織

M：マーケティングとイノベーション

A：アカウンタビリティとガバナンス

## ■法学研究科　法律学専攻

| 科　目　名 | 研　究　指　導　教　員　名 | | |
|---|---|---|---|
| 憲法特殊研究 | 教　授 | 須賀 | 博志 |
| 憲法特殊研究 | 教　授 | 中山 | 茂樹 |
| 民法特殊研究 | 教　授 | 高嶌 | 英弘 |
| 民法特殊研究 | 教　授 | 坂東 | 俊矢 |
| 民法特殊研究 | 教　授 | 山本 | 宣之 |
| 民法特殊研究 | 教　授　博士（法学） | 渡邉 | 泰彦 |
| 商法特殊研究 | 教　授 | 木俣 | 由美 |
| 商法特殊研究 | 教　授　博士（経済学）　（注） | 吉澤 | 卓哉 |
| 刑法特殊研究 | 教　授　博士（法学） | 岡本 | 昌子 |
| 刑事訴訟法特殊研究 | 教　授 | 成田 | 秀樹 |
| 社会保障法特殊研究 | 教　授 | 高畠 | 淳子 |
| 税法特殊研究 | 教　授 | 野一色 | 直人 |
| 国際法特殊研究 | 教　授 | 戸田 | 五郎 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■法学研究科　法政策学専攻

| 科　目　名 | 研　究　指　導　教　員　名 | | |
|---|---|---|---|
| 行政法特殊研究 | 教　授　法学博士　（注） | 太田 | 照美 |
| 社会保障政策特殊研究 | 教　授　（注） | 芝田 | 文男 |
| 国際法特殊研究 | 教　授 | 岩本 | 誠吾 |
| 政治思想史特殊研究 | 教　授 | 植村 | 和秀 |
| 政治過程論特殊研究 | 教　授 | 中井 | 歩 |
| 行政学特殊研究 | 教　授　Ph. D. | 芦立 | 秀朗 |
| 治安政策特殊研究 | 教　授　博士（政治学） | 浦中 | 千佳央 |
| 公共政策学特殊研究 | 教　授 | 中谷 | 真憲 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■理学研究科　数学専攻

| 科目名 | 研究指導教員名 | | |
|---|---|---|---|
| 位相幾何学研究 | 教授 | 理学博士 | 牛瀧　文宏 |
| 代数構造の表現論研究 | 教授 | 博士(理学) | 宇野　勝博 |
| 応用代数学研究 | 教授 | 博士(数理学) | 田中　立志 |
| 複素解析学研究 | 教授 | 博士（理学） | 濱野　佐知子 |
| 数理情報学研究 | 教授 | 博士（理学） | 三好　博之 |
| 整数論研究 | 教授 | 理学博士 (注) | 村瀬　篤 |
| 非線形解析学研究 | 教授 | 博士(数理科学) | 栁下　浩紀 |
| 応用位相研究 | 教授 | 理学博士 | 山田　修司 |
| 関数解析学研究 | 教授 | 博士（理学） | 渡辺　達也 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■理学研究科　物理学専攻

| 科目名 | 研究指導教員名 | | |
|---|---|---|---|
| 磁性研究 | 教授 | 博士（理学） | 伊藤　豊 |
| 計算物質科学研究 | 教授 | 博士（理学） | 内田　和之 |
| エネルギー・環境科学研究 | 教授 | 博士（工学） | 大森　隆 |
| 天文学研究 | 教授 | 博士（理学） | 河北　秀世 |
| 観測宇宙物理学研究 | 教授 | 博士（理学） | 岸本　真 |
| 非平衡物理学研究 | 教授 | 博士（理学） | 齊藤　国靖 |
| 惑星大気観測研究 | 教授 | 博士（理学） | 佐川　英夫 |
| 構造物性研究 | 教授 | 博士（工学） | 下村　晋 |
| 分子物質科学研究 | 教授 | 理学博士 | 鈴木　信三 |
| 量子機能物性研究 | 教授 | 博士（理学） | 瀬川　耕司 |
| 惑星気象学研究 | 教授 | 博士（理学） | 髙木　征弘 |
| 気象力学研究 | 教授 | 博士（理学） | 高谷　康太郎 |
| 非線形光学研究 | 教授 | 理学博士 (注) | 谷川　正幸 |
| ハドロン物理学研究 | 教授 | 博士（理学） | 新山　雅之 |
| ハドロン原子核物理学研究 | 教授 | 博士（理学） | 山縣　淳子 |
| 固体電子論研究 | 教授 | 学術博士 | 山上　浩志 |
| 宇宙物理学研究 | 教授 | 博士（理学） | 米原　厚憲 |

（注）2025 年度の募集は行いません。

## ■先端情報学研究科　先端情報学専攻

| 科　目　名 | 研　究　指　導　教　員　名 | | |
|---|---|---|---|
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　工学博士 | 荻　原 | 剛　志 |
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　博士(工学) | 川　村 | 新 |
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　博士(理学) | 小　林 | 聡 |
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　博士(情報科学) | 瀬　川 | 典　久 |
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　博士(工学) | 玉　田 | 春　昭 |
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　工学博士 | 新　實 | 治　男 |
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　博士(情報科学) | 林　原 | 尚　浩 |
| コンピュータサイエンス特別研究 | 教　授　博士(工学) | 吉　村 | 正　義 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(工学) | 秋　山 | 豊　和 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(工学) | 井　上 | 博　之 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(工学) | 大　本 | 英　徹 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(工学)　(注) | 蚊　野 | 浩 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(工学)　(注) | 河　合 | 由起子 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(情報学) | 中　島 | 伸　介 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(工学) | 水　口 | 充 |
| ネットワークメディア特別研究 | 教　授　博士(工学) | 宮　森 | 恒 |
| インテリジェントシステム特別研究 | 教　授　博士(医学) | 赤　﨑 | 孝　文 |
| インテリジェントシステム特別研究 | 教　授　理学博士 | 伊　藤 | 浩　之 |
| インテリジェントシステム特別研究 | 教　授　博士(工学) | 岡　田 | 英　彦 |
| インテリジェントシステム特別研究 | 教　授　博士(工学) | 荻　野 | 晃　大 |
| インテリジェントシステム特別研究 | 教　授　博士(障害学) | 奥　田 | 次　郎 |
| インテリジェントシステム特別研究 | 教　授　博士(工学) | 平　井 | 重　行 |
| インテリジェントシステム特別研究 | 准教授　博士(ｼｽﾃﾑ情報科学) | 棟　方 | 渚 |

(注) 2025 年度の募集は行いません。

## ■生命科学研究科　生命科学専攻

| 科　目　名 | 研　究　指　導　教　員　名 | | |
|---|---|---|---|
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（薬学） | 板　野 | 直　樹 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　医学博士 | 加　藤 | 啓　子 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 金　子 | 貴　一 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（農学） | 河　邊 | 昭 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 木　村 | 成　介 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　薬学博士 | 黒　坂 | 光 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 佐　藤 | 賢　一 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（医学） | 白　鳥 | 秀　卓 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（獣医学） | 髙　桑 | 弘　樹 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 武　田 | 洋　幸 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 津　下 | 英　明 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　農学博士 | 寺　地 | 徹 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 千　葉 | 志　信 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（医学） | 中　村 | 暢　宏 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　農学博士 | 野　村 | 哲　郎 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（獣医学） | 前　田 | 秋　彦 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 三　嶋 | 雄一郎 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 本　橋 | 健 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　理学博士 | 横　山 | 謙 |
| 生命科学特別研究 | 教　授　博士（理学） | 若　林 | 憲　一 |
| 生命科学特別研究 | 准教授　博士（理学） | 潮　田 | 亮 |
| 生命科学特別研究 | 准教授　博士（医学） | 川　根 | 公　樹 |
| 生命科学特別研究 | 准教授　博士（農学） | 高　橋 | 純　一 |
| 生命科学特別研究 | 准教授　博士（獣医学） | 棚　橋 | 靖　行 |
| 生命科学特別研究 | 准教授　博士（理学） | 西　田 | 貴　明 |
| 生命科学特別研究 | 准教授　博士（理学） | 西　野 | 佳　以 |

# Ⅴ.特 色 あ る 制 度

## １．ジョイント・プログラム（税務エキスパート）

### (1)　プログラム概要（税理士を目指す方へ）

京都産業大学大学院では、マネジメント研究科と法学研究科との連携により税理士資格取得を支援する「ジョイント・プログラム（税務エキスパート）」の履修希望者を募集しています。

入試において特に優秀な成績を収めた者を対象とするこのプログラムでは、最短 3 年間で税務の専門家としての素養を身につけて両研究科の学位を取得するとともに、税理士試験３科目（会計学１科目・税法２科目）の免除を国税審議会に申請することが可能となります。

**ジョイント・プログラム（税務エキスパート）履修イメージ図**

2025 年 2 月　第一研究科入試
↓
2025 年 4 月　第一研究科入学
↓　１年半の履修
2026 年 9 月　第一研究科修了判定　⇒修士論文に代えて特定の課題研究報告書も可
第二研究科入試（特別推薦）
↓
第二研究科入学
↓　１年半の履修
2028 年 3 月　第二研究科修了判定　⇒３年間で税法及び会計学の２つの分野で
２つの学位を取得
税理士試験３科目の免除申請が可能（国税審議会に申請）

### (2)　募集研究科

マネジメント研究科マネジメント専攻、法学研究科法律学専攻

### (3)　募集の対象となる入試制度

募集の対象となるのは、一般入試（博士前期課程）、社会人入試（博士前期課程）の各制度です。本プログラムを希望する場合は、出願時に志願票の所定欄に記載してください。

### (4)　入試概要

#### ①　第一研究科入試（第一研究科入学時）

両研究科とも、前ページ記(3)の入試合格者の中から成績優秀者を選抜して、本プログラムの合格者を決定します。本プログラム合格者は、同時に第二研究科入試（特別推薦）の出願資格を得ます（ただし、入学後の学業成績、修士論文又は特定課題研究報告書の状況によっては、出願資格が取り消されることがあります）。

**(A)　出願資格、出願期間、試験日、合否結果等の日程**

各入試制度を参照してください。

**(B)　選考方法**

＜マネジメント研究科＞

本プログラム希望者は自己申告資料（詳細は次ページ「(5)自己申告資料」参照）を提出してください。前ページ「(3)募集の対象となる入試制度」の入試成績及び自己申告資料との総合点により合否を判定します。

※試験科目等の詳細は各入試制度を参照してください。

＜法学研究科＞

本プログラム希望者は、各種資格、学部成績、論文実績、社会活動実績の４項目について該当する自己申告資料を提出してください。前ページ「(3)募集の対象となる入試制度」の入試成績及び自己申告資料との総合点により合否を判定します。（詳細は「(5)自己申告資料」参照）

※試験科目等の詳細は各入試制度を参照してください。

**(C)　入学検定料**

35,000 円

**(D)　大学院生支援奨学金制度**

全員に授業料 10%相当額を給付。また、一般入試で入学を許可された者で成績優秀者は、授業料 50%相当額を給付（授業料 10%相当額の一律給付に授業料 40%相当額を加えた額）。（詳しくは「２.大学院生支援奨学金制度」参照）

#### ②　第二研究科入試（第一研究科から第二研究科への入学時）

**(A)　出願資格**

本プログラムによる入学者で、入学後 2 年以内に第一研究科修了見込みの者

**(B)　選考方法**

出願書類（学位論文又はそれに代わるもの）と面接により合否を判定します。

**(C)　入学検定料**

10,000 円

**(D)　入学金**

入学金は免除します。

**(E)　大学院生支援奨学金制度**

規程に定める給付額を第一研究科から継続して給付します。

### (5)　自己申告資料

**マネジメント研究科**

「将来の展望とその実現に向けて」をテーマに以下の内容を記載した自己申告書（Ａ４用紙１枚程度で様式自由）を提出してください。

・記載内容　：　出願書類「研究計画書」に基づいて、以下の２点について記載

（ⅰ）将来の展望

（ⅱ）将来に向けて準備してきたこと（例：簿記検定取得、インターンシップへの参加、関連する講義科目の履修など）

※可能な限り証明書類（例えば資格の合格証のコピー）を添付すること

**法学研究科**

**①　資格等**

| 番号 | 項　目　名 | 評価 |
|---|---|---|
| １ | 税理士試験科目２科目以上合格（同免除要件充足者を含む） | Ａ |
| ２ | 税理士試験科目１科目以上合格（同免除要件充足者を含む） | Ｂ |
| ３ | 実用英語技能検定準１級 | Ａ |
| ４ | ＴＯＥＦＬ５５０点以上相当 | Ａ |
| ５ | ＴＯＥＦＬ５２０点以上相当 | Ｂ |
| ６ | ＴＯＥＩＣ７３０点以上 | Ａ |
| ７ | ＴＯＥＩＣ６７１点以上 | Ｂ |
| ８ | 国連英検Ａ級以上 | Ａ |
| ９ | 国連英検Ｂ級以上 | Ｂ |
| １０ | 実用数学技能検定１級 | Ａ |
| １１ | 実用数学技能検定準１級 | Ｂ |
| １２ | 日商簿記検定１級 | Ａ |
| １３ | 弁護士 | Ａ |
| １４ | 弁理士 | Ａ |
| １５ | 司法書士 | Ａ |
| １６ | 税理士 | Ａ |
| １７ | 公認会計士（補） | Ａ |
| １８ | 不動産鑑定士（補） | Ａ |
| １９ | 国税専門官 | Ａ |
| ２０ | ビジネス実務法務検定２級以上 | Ｂ |
| ２１ | 社会保険労務士 | Ｂ |
| ２２ | 土地家屋調査士 | Ｂ |
| ２３ | 中小企業診断士 | Ｂ |
| ２４ | 行政書士 | Ｂ |
| ２５ | 宅地建物取引主任 | Ｂ |
| ２６ | マンション管理業務主任 | Ｂ |
| ２７ | 通関士 | Ｂ |
| ２８ | 証券アナリスト | Ｂ |
| ２９ | その他の資格 | Ａ～Ｃ |

**②　学部成績**

学部成績が平均８５点以上又は要卒単位の４分の３以上がＡ（優）評価‥‥‥‥‥評価Ａ

学部成績が平均８０点以上又は要卒単位の３分の２以上がＡ（優）評価‥‥‥‥‥評価Ｂ

学部成績が評価Ｂに準ずる場合‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥評価Ｃ

**③　論文実績**

租税、法律又は会計に関する懸賞論文、卒業論文、公表論文等で優れたものとして表彰された場合又はそれに準ずる内容を有すると判断できるもの ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 評価Ａ～Ｃ

**④　社会における活動実績**

租税、法律又は会計に関する優れた問題意識と分析能力を有することが前提となるか又はそれらが修得される職務又は社会貢献を十分な期間にわたり積極的に行ってきたと認められるもの ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥

## (6) カリキュラム

ジョイント・プログラム（税務エキスパート）履修カリキュラム（一般入試入学者）（第一研究科・法学研究科、第二研究科・マネジメント研究科の場合）

別表1

| 科目種別 | | 法学研究科在籍 1セメスター（春） | 2セメスター（秋） | 3セメスター（春） | 必要単位 | 特別入試 | 科目種別 | | マネジメント研究科在籍 1セメスター（秋） | 2セメスター（春） | 3セメスター（秋） | 必要単位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法学研究科 | 必須科目 | ・税法特論Ａ／Ｂ<br>・税法特論演習Ａ／Ｂ | | ★研究指導Ａ／Ｂ | 16 | 合格 | マネジメント研究科 | 必須科目 | ・会計特論<br>・研究指導教員の特論演習Ⅰ／Ⅱ | | ・研究指導教員の特論演習Ⅲ／Ⅳ | 10 | プログラム完了 |
| | 最重点科目 | ・民法特論Ａ／Ｂ<br>・商法特論Ａ／Ｂ<br>☆税法特論Ａ／Ｂ<br>☆税法特論演習Ａ／Ｂ<br>・租税手続法特論<br>・租税法政策特論<br>・国際租税法特論 | | | 10 | | | 最重点科目 | ・財務会計特論<br>・管理会計特論<br>・原価管理特論<br>・国際会計特論<br>・税務会計特論<br>・会計監査特論<br>・財務管理特論<br>・財務諸表分析特論 | | | 10 | |
| | | | | | | | | | | ◎副研究指導教員の特論演習Ⅰ | ◎副研究指導教員の特論演習Ⅱ | | |
| | 重点科目 | ・憲法特論Ａ／Ｂ<br>・行政法特論Ａ／Ｂ<br>・国際法特論Ａ／Ｂ<br>・法哲学特論Ａ／Ｂ<br>・インターンシップ | | | ＃14 | | | 重点科目 | ・組織論特論<br>・人材マネジメント論特論<br>・生産マネジメント特論<br>・マーケティング・リサーチ特論<br>・経営戦略論特論<br>・ベンチャービジネス特論<br>・経営管理論特論 | | | ＊20 | |
| マネジメント研究科 | 先取必須科目 | ・組織論特論<br>・人材マネジメント論特論<br>・生産マネジメント特論<br>・マーケティング・リサーチ特論<br>・経営戦略論特論<br>・ベンチャービジネス特論<br>・経営管理論特論 | ・経営戦略論特論<br>・ベンチャービジネス特論 | | 6 | | | 先取認定科目 | | | | (6) | |
| 修論／ＲＰ | | 課題絞込み | データ蓄積・執筆 | | 合格 | | 修論／ＲＰ | | 課題絞込み | データ蓄積・執筆 | | 合格 | |
| 計 | | | | | ＃36 | | 計 | | | | | ＊30 | |

★印は４単位科目、無印は２単位科目を示す。
☆印は必須科目を担当する教員の担当するものを除く。
＊先取科目認定後の単位数を表す。
＃課題研究報告書提出者は＋２単位となる。
ＲＰ：リサーチペーパー（課題研究報告書）
◎印はマネジメント研究科修了時までに４単位を選択履修できる。

ジョイント・プログラム（税務エキスパート）履修カリキュラム（一般入試入学者）（第一研究科・マネジメント研究科、第二研究科・法学研究科の場合）

別表2

| 科目種別 | | マネジメント研究科在籍 1セメスター（春） | 2セメスター（秋） | 3セメスター（春） | 必要単位 | 特別入試 | 科目種別 | | 法学研究科在籍 1セメスター（秋） | 2セメスター（春） | 3セメスター（秋） | 必要単位 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| マネジメント研究科 | 必須科目 | ・会計特論<br>・研究指導教員の特論演習Ⅰ／Ⅱ | | ・研究指導教員の特論演習Ⅲ／Ⅳ | 10 | 合格 | 法学研究科 | 必須科目 | ・税法特論Ａ／Ｂ<br>・税法特論演習Ａ／Ｂ | | ★研究指導Ａ／Ｂ | 16 | プログラム完了 |
| | 最重点科目 | ・財務会計特論<br>・管理会計特論<br>・原価管理特論<br>・国際会計特論<br>・税務会計特論<br>・会計監査特論<br>・財務管理特論<br>・財務諸表分析特論 | | | 10 | | | 最重点科目 | ・民法特論Ａ／Ｂ<br>・商法特論Ａ／Ｂ<br>☆税法特論Ａ／Ｂ<br>☆税法特論演習Ａ／Ｂ<br>・租税手続法特論<br>・租税法政策特論<br>・国際租税法特論 | | | ＊10 | |
| | | | ◎副研究指導教員の特論演習Ⅰ | ◎副研究指導教員の特論演習Ⅱ | | | | | | | | | |
| | 重点科目 | ・組織論特論<br>・人材マネジメント論特論<br>・生産マネジメント特論<br>・マーケティング・リサーチ特論<br>・経営戦略論特論<br>・ベンチャービジネス特論<br>・経営管理論特論 | | | 20 | | | 重点科目 | ・憲法特論Ａ／Ｂ<br>・行政法特論Ａ／Ｂ<br>・国際法特論Ａ／Ｂ<br>・法哲学特論Ａ／Ｂ<br>・インターンシップ | | | ＊＃14 | |
| 法学研究科 | 先取必須科目 | ・民法特論Ａ／Ｂ<br>・商法特論Ａ／Ｂ<br>・憲法特論Ａ<br>・行政法特論Ａ<br>・国際法特論Ａ／Ｂ<br>・法哲学特論Ａ<br>・租税法政策特論 | | | 6 | | | 先取認定科目 | | | | (6) | |
| 修論／ＲＰ | | 課題絞込み | データ蓄積・執筆 | | 合格 | | 修論／ＲＰ | | 課題絞込み | データ蓄積・執筆 | | 合格 | |
| 計 | | | | | 36 | | 計 | | | | | ＊＃30 | |

★印は４単位科目、無印は２単位科目を示す。
☆印は必須科目を担当する教員の担当するものを除く。
＊先取科目認定後の単位数を表す。
＃課題研究報告書提出者は＋２単位となる。
ＲＰ：リサーチペーパー（課題研究報告書）
◎印はマネジメント研究科修了時までに４単位を選択履修できる。

※マネジメント研究科社会人入試入学者のカリキュラムには「マネジメント英語文献講読」科目が必須科目に加わります。

特色ある制度

## ２．大学院生支援奨学金制度

### (1)　目　的

大学院生の育成支援

### (2)　概　要

経済支援として奨学金を給付

（当該学期の学費納付時に授業料から給付額を減じて給付します。）

### (3)　給付額

#### ①　修士課程・博士前期課程

修士課程・博士前期課程に入学を許可された者及び在学生は、授業料 10%相当額の一律給付（A）を受けることができます。さらに、一般入試（社会人を対象とする入試を除く。）において成績が優秀であった者は、授業料 50%相当額の給付（B）を受けることができます。

**(A)　一律給付**

対　象：修士課程・博士前期課程の全員

期　間：１年（標準修業年限内において再申請可能）

給付額：授業料 10%相当額

大学院生支援奨学金に採用された場合の学費負担額イメージ

（参考：2024 年度学費額から算出）

| | 授業料 | 教育充実費<br>実験実習費 |
|---|---|---|
| １０％<br>相当額<br>給付 | 475,200 円<br>(624,600 円) | 163,000 円<br>(274,000 円) |

() 内は理系

給付額　　文系 52,800 円　理系　69,400 円
負担額合計　文系 638,200 円　理系 898,600 円

**(B)　成績優秀者に対する給付**

対　象：修士課程・博士前期課程の一般入試（社会人を対象とする入試を除く。）で入学を許可された成績優秀者

期　間：１年（標準修業年限内において再申請可能）

給付額：授業料 50%相当額

（授業料 10%相当額の一律給付に授業料 40%相当額を加えた額）

大学院生支援奨学金に採用された場合の学費負担額イメージ

（参考：2024 年度学費額から算出）

| | 授業料 | 教育充実費<br>実験実習費 |
|---|---|---|
| ５０％相当額<br>給付 | 264,000 円<br>(347,000 円) | 163,000 円<br>(274,000 円) |

() 内は理系

給付額　文系 264,000 円　理系 347,000 円
負担額合計　文系 427,000 円　理系 621,000 円

**② 博士後期課程**

対　象：博士後期課程の全員

期　間：１年（標準修業年限内において再申請可能）

給付額：授業料 90％相当額

（但し、標準修業年限を超えた場合は、授業料 50％相当額に変更）

大学院生支援奨学金に採用された場合の学費負担額イメージ

（参考：2024 年度学費額から算出）

| 授業料 | | 教育充実費<br>実験実習費 |
|---|---|---|
| ９０％相当額<br>給付 | 52,800 円<br>(69,400 円) | 163,000 円<br>(274,000 円) |

() 内は理系

給付額　文系 475,200 円　理系 624,600 円
負担額合計　文系 215,800 円　理系 343,400 円

**(4) 手続等**

奨学金の給付を受けようとする者は、申請書の提出が必要です。

【入学年度】

1. 合格通知時に奨学金採用候補通知書と申請書を送付
2. 所定の期日までに申請書を提出

【２年次以降】

1. 所定の期日までに申請書を当該研究科に提出
2. 本人の申請及び研究指導教員の推薦に基づき、研究科において継続採用を審査

**(5) 備　考**

その他詳細については、入学手続書類を送付する際にお知らせします。

## ３．私費外国人留学生を対象とした授業料減免制度

**京都産業大学私費外国人留学生授業料減免**

| | |
|---|---|
| 対象者 | 私費外国人留学生<br>（学内推薦入試で入学を許可された者は除く） |
| 減免額 | 1 学期間の授業料の 40%相当額 |
| 採用期間 | 1 学期間<br>（次学期再申請可） |

注：・上記の授業料減免は、在留資格が「留学」の者に限ります。
・上記の授業料減免が対象となる期間は、最短修業年限とします。
・上記の授業料減免は所定の期間に「申請書」を提出しなければなりません。

**（備考）**

上記の授業料減免及び奨励金に関する申請方法等の詳細については、入学手続書類を送付する際にお知らせします。

## ４．教育研究支援制度

### (1)　リサーチ・アシスタント制度（博士後期課程）

この制度は、博士後期課程の大学院生に本学が行う研究プロジェクト等に参画する機会を提供することにより、本学の研究支援体制の充実及び若手研究者の養成を促進することを目的としています。採用される研究プロジェクト等により異なりますが、年額最大 132 万円を支給します。

### (2)　ティーチング・アシスタント（ＴＡ）制度

この制度は、大学院生が授業の教育補助業務を行うことにより、学部学生等に対してより一層の教育効果を上げ、教育研究の指導者となるための学習機会を得ることを目的としています。

### (3)　学会発表のための旅費等支援制度

この制度は、学会への発表の機会を増し、発表を通じて大学院生の専門的知識の向上を図ることを目的としています。国内学会発表のために要した旅費・宿泊費等を支援する制度です。

### (4)　論文投稿掲載費の支援制度

この制度は、専門雑誌への論文単独投稿掲載に係る費用を支援します。

### (5)　海外学会発表のための支援制度

この制度は、海外で開催される学会において研究発表を行うために要した費用を支援します。

### (6)　海外留学のための支援金制度

この制度は、大学院生の海外留学に際して支援金を給付することにより、経済的負担を軽減し、学業に専念できることを目的としています。

## ５．長期履修制度

### (1) 制度概要

京都産業大学大学院では、次の方を対象とした長期履修制度を設けています。通常の２年で課程を修了するコース以外に３年又は４年の履修によって、仕事等と研究を両立し教育課程を修了することができます。

### (2) 対象者

本大学院の在学生及び入学予定者のうち、次のいずれかに該当する者

・有職者であって、職務上の事情により標準修業年限で修了することが困難な者

・育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者

### (3) 対象研究科と修業年限

| | | |
|---|---|---|
| 経済学研究科 | 博士前期課程 | 年単位で３年又は４年 |
| マネジメント研究科 | 博士前期課程 | 年単位で３年又は４年 |
| 法学研究科 | 博士前期課程 | 年単位で３年又は４年 |
| 現代社会学研究科 | 修士課程 | 年単位で３年又は４年 |
| 外国語学研究科 | 修士課程 | 年単位で３年又は４年 |
| 理学研究科 | 博士前期課程 | 年単位で３年又は４年 |
| 先端情報学研究科 | 博士前期課程 | 年単位で３年又は４年 |
| 生命科学研究科 | 博士前期課程 | 年単位で３年又は４年 |

※ただし、最長修業（在学）年数は３年コース、４年コースともに４年

### (4) 学費

標準修業年限（２年）の学費の総額を該当修業年数に応じて分割分納します。

### (5) その他

その他詳細については、合格者に送付する案内等でお知らせします。

# Ⅵ. 日本学生支援機構奨学金

## 博士前期課程・修士課程

### １．新規出願方法

出願に関するご案内については、大学院入学後の４月以降に電子掲示板にてお知らせします。

### ２．特に優れた業績による奨学金返還免除制度

大学院進学後に第一種奨学金の貸与を受け、貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には、貸与期間終了時においてその奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度です。本制度への申請は第一種奨学金の貸与が終了する年度となりますので、その際に改めてご案内します。

### ３．特に優れた業績による奨学金返還免除内定候補者制度（以下、「本制度」という）について

上記２の制度は第一種奨学金の貸与終了年度に申請するものですが、本制度は大学院（博士前期課程・修士課程）入学前に申請を行い、選考の上、内定候補者を決定するものです。

（１）目　　的：優秀な低所得世帯の大学学部生等に対して、修士課程等での修学に係る経済的不安を早期に解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的としています。

（２）推 薦 枠：上記２の制度とは別に推薦枠が設けられます。また年度によって各大学院に配分される枠は異なります。

（３）対　　象：以下のいずれも満たす必要があります。

①大学学部等において高等教育修学支援制度を受給していること又は住民税非課税世帯であること。

②科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）又は大学の強みや地域の強み等を生かした分野への進学を希望していること。

③将来、上記②の分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること。

（４）選　　考：上記の対象要件を満たしていることを進学予定先の大学院で確認した上で、大学院入試の成績やこれに代わる大学学部の成績等を基に、文部科学省令で定める各業績について十分な成果を挙げる見込みがある者として総合的に評価して選考を行います。

（５）申請方法：事前申請として、学生支援センターまでメールにてご連絡ください（メールアドレスは下記参照）。

事前申請期限…2024 年 12 月 20 日（金）

※件名は「奨学金返還免除内定制度申請希望」とし、本文に①氏名、②現住所、③連絡先（本人携帯電話番号）、④現時点で在学している大学・学部名を明記してください。

※本学大学院入試受験前でも申請が可能です。ただし、推薦者となった後に本学へ入学しない場合等は辞退の連絡が必要です。

※事前申請後は、書類の提出がございます。詳細はメール受付後にご案内します。

（６）注意事項：①本制度を利用するためには、大学院入学後に第一種奨学金の出願をする必要があります。本制度の申請要件と第一種奨学金の選考基準は異なることから、推薦者として決定された方であっても第一種奨学生に採用されるとは限りません。第一種奨

学生に不採用となった場合は、内定者の効力も失いますのでご注意ください。
②内定者に決定した場合も、貸与終了年度に改めて返還免除の申請が必要です。
③結果について、学内の選考結果は 2025 年４月中旬頃、日本学生支援機構での選考結果は 2025 年７月下旬頃に通知します。
④当該年度に本学に配分される推薦枠が無かった場合、本制度の利用はできません。

## 博士後期課程

### １．新規出願方法

出願に関するご案内については、大学院入学後の４月以降に電子掲示板にてお知らせします。

### ２．特に優れた業績による奨学金返還免除制度

大学院進学後に第一種奨学金の貸与を受け、貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には、貸与期間終了時においてその奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度です。本制度への申請は第一種奨学金の貸与が終了する年度となりますので、その際に改めてご案内します。

### ３．特に優れた業績による奨学金返還免除採用時内定候補者制度（以下、「本制度」という）について

上記２の制度は第一種奨学金の貸与終了年度に申請するものですが、本制度は大学院（博士後期課程）１年次に内定する制度です。

（1）推 薦 枠：上記２の制度とは別に推薦枠が設けられます。また年度によって各大学院に配分される枠は異なります。
（2）選　　考：博士後期課程の入試成績や博士前期課程の成績等を基に、総合的に評価して選考を行います。
（3）申請方法：2025 年 10 月頃に対象者へ個別にご案内します。
（4）注意事項：①内定者に決定した場合も、貸与終了年度に改めて返還免除の申請が必要です。
②結果について、学内の選考結果は 2026 年３月下旬頃、日本学生支援機構での選考結果は 2026 年５月下旬頃に郵送にて通知します。
③当該年度に本学に配分される推薦枠が無かった場合、本制度の利用はできません。

**日本学生支援機構奨学金に関するお問い合わせ**

学生支援センター（学生生活支援担当）
（０７５）７０５－１４３３
取扱時間　　平日　９：００～１６：３０
（１３：００～１４：００除く）
メールアドレス　gakusei-bu-kei@star.kyoto-su.ac.jp

＜MEMO＞

## 本学への主な交通機関

- **JR 京都駅・阪急烏丸（四条）駅から地下鉄で**

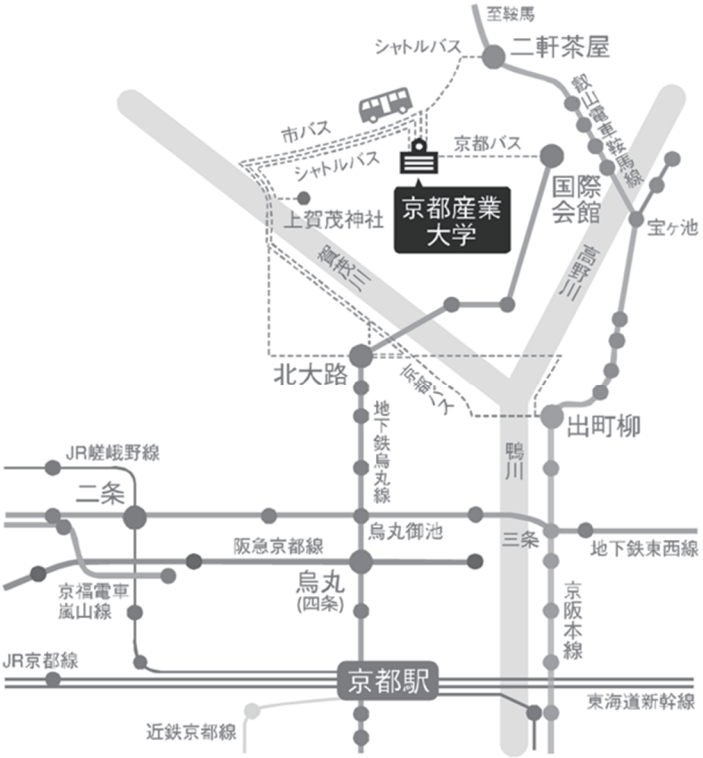
  ①「国際会館駅」下車、京都バスで約９分「京都産業大学前」下車

  ②「北大路駅」下車、市バス・京都バスで約 15 分「京都産業大前」下車

- **京阪電車「出町柳駅」から**

  ①　京都バスで直行約 18 分（普通約 21 分）「京都産業大学前」下車

  ②　叡山電車（鞍馬線）で「二軒茶屋駅」下車、無料シャトルバスで約５分




# 京都産業大学大学院

KYOTO SANGYO UNIVERSITY　GRADUATE SCHOOL

教学センター（大学院担当）　〒603－8555　京都市北区上賀茂本山

TEL:075-705-1913

研究科に関するお問い合わせ

| | |
|---|---|
| 経済学研究科 | （０７５）７０５－１４５２ |
| マネジメント研究科 | （０７５）７０５－１４５４ |
| 法学研究科 | （０７５）７０５－１４５８ |
| 現代社会学研究科 | （０７５）７０５－１７２４ |
| 外国語学研究科 | （０７５）７０５－１４６１ |
| 理学研究科 | （０７５）７０５－１４６３ |
| 先端情報学研究科 | （０７５）７０５－１９８９ |
| 生命科学研究科 | （０７５）７０５－１４６６ |